

令和6年度 法人本部拠点区分事業報告書

1. 大東福祉会の経営状況について

今年度大東福祉会の経営状況について、一般企業の経常利益に相当する経常増減差額は、法人全体で前期1億500万円となり前々期から2年連続で続いた減益から脱却し増益に転じた。主な要因としては、老人福祉部においては利用率の低迷は依然続いているが、経費削減の工夫と人件費抑制によるものである。子育て支援部では出生率低下に伴う入園児の減少は続いているが、処遇改善等加算率が高くなったものである。法人全体としては、収益に伴う部門ごとに人件費の措置等を講じた結果となった。

事業活動資金収支差額は、老人福祉部（大東苑、くにやす苑、小笠老人ホーム）では、前期比347.4%増で3,300万円程の黒字となった。利用者減による経費の減や期末勤勉手当の支給率10%減等による人件費の削減が主な要因である。子育て支援部（きとうこども園、おおさかこども園、ちはまこども園）については、前期比185.1%増の1億1,600万円程の黒字となった。公定価格の改正による教育・保育給付費単価の上昇により、入園児減少による収入減を補う結果となった。

当法人の中長期経営計画での積立資産目標を、子育て支援部では8,100万円の積み立てにより達成できたが、老人福祉部では未達となった。今後、より一層の利用率の向上を図り、安定した経営を目指していく。

事業活動収入は、介護保険事業収入が前期比0.3%増の10億1,600万円、老人福祉事業収入は前期比0.5%減の1億1,300万円、保育事業収入は前期比12.0%増の6億5,400万円となり、全体の事業活動収入は前期比3.7%増の17億9,300万円となった。

事業活動支出は、全体で前期比0.8%減の16億4,500万円、内訳は人件費が12億4,800万円と支出の大半を占めており、法人全体の事業活動人件費比率は75.8%となり、前期より0.2ポイント下がっている。これは老人福祉部の人件費抑制が主な要因である。

サービスの質の向上を図りながら、地域の方により多く利用して頂くことで、持続可能な法人経営とすることが、地域貢献に繋がる。

2. 事業毎の総括について

令和6年度はコロナ感染対策を継続しつつ、それぞれの施設での行事等を通常活動に近い施設運営を行った。今後も施設での感染対応を適切に実施し、利用者や地域住民から信頼される施設として福祉サービスの提供に努める。

子育て支援事業については、出生率の低下により園児数が減少しているが、利用率については、市との協議が整い、1号認定（教育時間）の定員（おおさか75人を35人・ちはま45人を25人）を60人減じた事により、きとうこども園（R5 76.5% R6 76.8%）、おおさかこども園（R5 65.4% R6 73.8%）、ちはまこども園（R5 76.3% R6 92.7%）と大幅に改善した。

認定こども園事業については、当法人の3園がともに安心・安全に園生活が送れるよう環境整備に細心の注意を払いながら、教育・保育を行った。

老人福祉事業については、くにやす苑の移転建て替えについて、掛川市の公共施設再配置計画を考慮しつつ、複数の候補地について市と協議した。引き続き、くにやす苑の移転建設計画を作成し、早期に建て替えが実現できるよう移転用地の協議を市と重ねていく。

当法人が指定管理を受けている小笠老人ホーム「小笠の郷」の指定管理については、小笠老人ホーム施設組合より令和6年4月から令和11年3月までの5年間の延長指定を受けた。安定経営を図るため施設組合と地域包括支援センターに働きかけ、入所対象者の掘り起こしの要望を行っていく。

老人福祉事業における各サービスの年間平均利用率等と目標利用率等を示す。

大東居宅	年間平均作成件数 263 件（目標 285）	大東ヘルパー	年間平均利用時間 378 時間（目標 455）
大東デイ	月間平均利用者数 39.4 人（目標 43 人）	なかよし	月間平均利用者数 4.1 人（目標 8 人）

大東ショート	年間平均利用者数 10.4 人（目標 11 人）	大東苑	年間平均利用率 94.8%（目標 98%）
くにやすデイ	月間平均利用者数 21.8 人（目標 24 人）		
くにやすショート	月間平均利用者数 10.6 人（目標 13.6 人）		
くにやす苑	年間平均利用率 94.9%（目標 98%）	小笠老人ホーム	年間平均利用率 76.2%（目標 94%）

大東福祉会の経営理念に掲げる、教育の振興と地域福祉の推進をするために優秀な人材の確保と職員の育成及び組織の活性化を図ることで、国や掛川市の教育・福祉ニーズが的確に反映された質の高い福祉サービスを安定的に提供していく。

3. 理事会の開催について

（理事の定員 6 名、監事の定員 2 名）

令和 6 年 6 月 5 日（水）（出席理事数 5 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 1 号 社会福祉法人大東福祉会入所者預り金等管理規程の一部改正について
- 2) 議案第 2 号 令和 5 年度社会福祉法人大東福祉会事業報告について
- 3) 議案第 3 号 令和 5 年度社会福祉法人大東福祉会決算認定について
- 4) 議案第 4 号 社会福祉法人大東福祉会評議員会の開催について

令和 6 年 6 月 18 日（火）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名） * 書面決議

- 1) 議案第 5 号 社会福祉法人大東福祉会子育て支援部 3 園の定期預金変更について

令和 6 年 7 月 31 日（水）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 6 号 社会福祉法人大東福祉会介護老人福祉施設大東苑運営規程の一部改正について
- 2) 議案第 7 号 社会福祉法人大東福祉会大東ショーステイサービス運営規程の一部改正について
- 3) 議案第 8 号 社会福祉法人大東福祉会介護老人福祉施設くにやす苑運営規程の一部改正について
- 4) 議案第 9 号 社会福祉法人大東福祉会くにやすショーステイサービス運営規程の一部改正について
- 5) 議案第 10 号 社会福祉法人大東福祉会経理規程の一部改正について
- 6) 議案第 11 号 社会福祉法人大東福祉会資金運用責任者の選任について
- 7) 議案第 12 号 社会福祉法人大東福祉会評議員候補者の推薦について
- 8) 議案第 13 号 社会福祉法人大東福祉会評議員選任・解任委員会の開催について

令和 6 年 9 月 3 日（火）（出席理事数 5 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 14 号 社会福祉法人大東福祉会幼保連携型認定こども園きとうこども園運営規程の一部改正について
- 2) 議案第 15 号 社会福祉法人大東福祉会幼保連携型認定こども園おおさかこども園運営規程の一部改正について
- 3) 議案第 16 号 社会福祉法人大東福祉会幼保連携型認定こども園ちはまこども園運営規程の一部改正について

令和 6 年 9 月 27 日（金）（出席理事数 5 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 17 号 社会福祉法人大東福祉会職員給与の改正について
- 2) 議案第 18 号 社会福祉法人大東福祉会給与規程の一部改正について
- 3) 議案第 19 号 社会福祉法人大東福祉会非常勤職員給与規程の一部改正について
- 4) 議案第 20 号 令和 6 年度養護老人ホーム小笠老人ホーム給食業務委託変更契約について
- 5) 議案第 21 号 令和 7 年度社会福祉法人大東福祉会特別養護老人ホーム大東苑 給食業務委託契約について
- 6) 議案第 22 号 令和 7 年度社会福祉法人大東福祉会 特別養護老人ホームくにやす苑 給食業務委託契約について

令和6年10月30日(水)(出席理事数 6名、出席監事数2名)

- 1) 議案第 23 号 社会福祉法人大東福祉会幼保連携型認定こども園きとうこども園運営規定の一部改正について
- 2) 議案第 24 号 社会福祉法人大東福祉会幼保連携型認定こども園おおさかこども園運営規定の一部改正について
- 3) 議案第 25 号 社会福祉法人大東福祉会幼保連携型認定こども園ちはまこども園運営規定の一部改正について
- 4) 議案第 26 号 令和6年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について
- 5) 議案第 27 号 社会福祉法人大東福祉会評議員会の開催について

令和7年2月14日(金)(出席理事数 5名、出席監事数2名)

- 1) 議案第 28 号 社会福祉法人大東福祉会就業規則の一部改正について
- 2) 議案第 29 号 社会福祉法人大東福祉会非常勤職員就業規則の一部改正について
- 3) 議案第 30 号 社会福祉法人大東福祉会給与規程の一部改正について
- 4) 議案第 31 号 社会福祉法人大東福祉会非常勤職員給与規程の一部改正について
- 5) 議案第 32 号 社会福祉法人大東福祉会育児休業規程の一部改正について
- 6) 議案第 33 号 社会福祉法人大東福祉会介護休業規程の一部改正について
- 7) 議案第 34 号 社会福祉法人大東福祉会慶弔規程の一部改正について
- 8) 議案第 35 号 社会福祉法人大東福祉会私有車の業務使用規程の制定について
- 9) 議案第 36 号 社会福祉法人大東福祉会苦情解決第三者委員の選任について
- 10) 議案第 37 号 令和7年度役員等賠償保険加入について

令和7年3月12日(水)(出席理事数 6名、出席監事数2名)

- 1) 議案第 38 号 社会福祉法人大東福祉会旅費規程の改正について
- 2) 議案第 39 号 社会福祉法人大東福祉会養護老人ホーム小笠老人ホーム給食業務委託契約について
- 3) 議案第 40 号 令和6年度きとうこども園拠点区分積立金の積み立てについて
- 4) 議案第 41 号 令和6年度おおさかこども園拠点区分積立金の積み立てについて
- 5) 議案第 42 号 令和6年度ちはまこども園拠点区分積立金の積み立てについて
- 6) 議案第 43 号 令和6年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について
- 7) 議案第 44 号 令和7年度社会福祉法人大東福祉会事業計画について
- 8) 議案第 45 号 令和7年度社会福祉法人大東福祉会収入支出予算について
- 9) 議案第 46 号 社会福祉法人大東福祉会特別養護老人ホーム大東苑施設長の選任について
- 10) 議案第 47 号 社会福祉法人大東福祉会特別養護老人ホームくにやす苑施設長の選任について
- 11) 議案第 48 号 社会福祉法人大東福祉会幼保連携型認定こども園きとうこども園施設長の選任について
- 12) 議案第 49 号 社会福祉法人大東福祉会幼保連携型認定こども園おおさかこども園施設長の選任について
- 13) 議案第 50 号 社会福祉法人大東福祉会養護老人ホーム小笠老人ホーム施設長の選任について
- 14) 議案第 51 号 社会福祉法人大東福祉会理事候補者の推薦について
- 15) 議案第 52 号 社会福祉法人大東福祉会本部事務局長の選任について
- 16) 議案第 53 号 社会福祉法人大東福祉会本部事務局次長の選任について
- 17) 議案第 54 号 社会福祉法人大東福祉会評議員選任・解任委員会委員の選任について
- 18) 議案第 55 号 社会福祉法人大東福祉会資金運用責任者の選任について
- 19) 議案第 56 号 社会福祉法人大東福祉会評議員会の開催について

4. 評議員会の開催について

(評議員の定員7名)

令和6年6月21日(金)(出席評議員数6名、出席理事数1名、出席監事数2名)

- 1) 議案第1号 令和5年度社会福祉法人大東福祉会 事業報告について
- 2) 議案第2号 令和5年度社会福祉法人大東福祉会 計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について

令和6年11月8日(金)(出席評議員数7名、出席理事数1名、出席監事数2名)

- 1) 議案第3号 令和6年度 社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について

令和7年3月25日(火)(出席評議員数7名、出席理事数1名、出席監事数2名)

- 1) 議案第4号 令和6年度 社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について
- 2) 議案第5号 令和7年度 社会福祉法人大東福祉会 事業計画について
- 3) 議案第6号 令和7年度 社会福祉法人大東福祉会 収入支出予算について
- 4) 議案第7号 社会福祉法人大東福祉会 理事の選任について

5. 評議員会選任・解任委員会の開催について

(委員5名)

令和6年8月19日(月)(出席委員数5名、出席理事数1名)

- 1) 議案第1号 社会福祉法人大東福祉会 評議員の選任について

6. 監事監査の実施について

1. 開催日時・場所

内 容	開 催 日 時	場 所
決算監査	令和6年5月21日(火) 午前9時00分～午後4時50分	おおさかこども園・大東苑
決算監査	令和6年5月22日(水) 午前9時00分～午後4時30分	ちはまこども園・くにやす苑
決算監査	令和6年5月23日(木) 午前8時55分～午後5時10分	きとうこども園・小笠老人ホーム・本部
定期監査	令和6年10月23日(水) 午前8時55分～午後4時45分	きとうこども園・ちはまこども園・おおさかこども園・小笠老人ホーム
定期監査	令和5年10月24日(木) 午前9時00分～午後4時45分	くにやす苑・大東苑・本部

7. 令和6年度社会福祉施設等の指導監査の実地について

1. 静岡県指導監査 開催日時等

実 施 施 設	開 催 日 時	静岡県担当課
きとうこども園	令和7年2月25日(火) 午前9時40分～午後4時00分	福祉指導課

2. 結果

実 施 施 設	改 善 指 導 事 項	是正・改善の具体的方策
きとうこども園	改善指導事項なし	—

8. 苦情解決結果について

大東苑

■受付日 令和6年5月27日

申出人 ショートステイ利用者家族

内 容 利用者から家族に対し、ショートステイ時に薬を服用していないと言われたため、薬の服用について確認してほしいとの家族からの問い合わせがあった。

結 果 家族からの連絡を受け、薬を保管する引き出しを確認したところ利用者の服用薬が残っていた事が判明した。

家族に報告し、チェックミスにより飲ませ忘れがあったこと、電話をいただくまで気づかなかった事など経緯を説明し、謝罪した。

その後、関係職員で問題点を確認し、次の改善策を実施する事とした。

- ① 薬のセットを行う際には、必ず2人でチェックをすること。
- ② 利用者から訴えがあったときは、必ず残薬の引き出しの中も確認し、飲ませ忘れがないか確認すること。
- ③ 退所時に薬の引き出しの中に残薬がないか確認すること。

上記改善策を、申し送りノートで周知するとともに、職員会議でも情報を共有し、対応確認を行った。

くにやす苑

■受付日 令和6年12月3日

申出人 ショートステイ利用者家族

内 容 家族から利用者の荷物内の「入れ歯洗浄剤」が減っていない事や持参したパジャマも着替えていなかったようだが、本人拒否か職員不介入なのか、問い合わせがあった。

結 果 担当職員に確認したところ、本人から入浴拒否の申し出を受けた旨の報告を受けた。

また、衣類の着替え時には声掛けしたが、「明日デイサービスで着替えるから」と言われたため着替えを行わなかった。

併せて、パジャマ・入れ歯洗浄剤使用について声掛けしたところ「自分でできる」と言われたため、本人に任せてしまったとの事であった。

これら一連の行動には、確認行為がされていなかったためケアマネージャーを介して謝罪した。今後は、本人任せにせず、職員が確認作業を行うこととした。

きとうこども園

■受付日 令和7年1月28日

申出人 保護者

内 容 卒園式に夫婦で出席したいが「0歳児の下の子を園で預かってもらえない」と担任から言われた。父親が0歳児を抱いて廊下から見るのはどうかとの問いに、今後、検討する旨を園長から保護者に伝えた。

結 果 園長会で協議をし、下の子が園児の場合に限り、卒園式当日の希望保育を受け入れることとし、3園で共有化を図り、保護者にその旨を伝えた。関係保護者は、納得し承認を得た。

このため、在園児に対し、当日の希望保育申込みについてお便りを利用し周知した。

その結果、当日には、申出人を含む保育児2人の希望保育を実施した。

令和6年度 きとうこども園拠点区分事業報告書

1 令和6年度の総括

令和6年度においては、開園2年目を迎えるにあたり、昨年度の反省点および課題点を総括し、改善に向けた具体的な取り組みを実施した。その一環として、園目標である「みつけよう やってみよう おはなししよう」を職員一人ひとりが常に意識し、子どもたちが主体的に活動に取り組める環境の整備に注力した。

運営面では、年度当初183名の園児で開始し、3月までに0歳児8名、2歳児1名の途中入園を受け入れ、年度末時点で192名となった。0歳児の受け入れ需要が高まったことから、9月に非常勤職員1名を採用し、0歳児の積極的な受け入れ体制を構築した。

保育面では、子どもたちの興味を丁寧に把握し、「やってみたい」という主体的な意欲を引き出すため、学年ごとの環境整備を推進した。加えて、支援を必要とする子どもについては、担任を中心に個々の成長を見据えつつ、補助職員や他の職員と協力し、園全体で支援を行った。また、保護者から寄せられたアンケート結果や意見を真摯に受け止め、その都度職員間で話し合いを重ね、丁寧に対応し課題解決に努めた。

職員の資質向上に関しては、正規職員のみならず非常勤職員や給食職員もキャリアアップ研修をはじめ多様な講義に参加し、専門性の向上を図った。今後も園内研修や外部研修への積極的な参加を継続し、更なる学びの深化を目指していく。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 全体 (R6.4.1～R7.3.31)

定員 250名 (1号45名、2号128名、3号77名)

歳児月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	1号	4歳児	1号	5歳児	1号	計	1号	定員割合(%)
					2号		2号		2号		2.3号	
4	3	24	23	37	8 29	51	17 34	45	13 32	183	38 145	73.2
5	4	24	24	37	8 29	51	17 34	45	13 32	185	38 147	74
6	6	24	24	38	8 30	51	17 34	45	13 32	188	38 150	75.2
7	6	24	23	38	9 29	51	17 34	45	14 31	187	40 147	74.8
8	6	24	24	38	9 29	51	17 34	45	14 31	188	40 148	75.2
9	7	24	24	37	9 28	51	17 34	45	14 31	188	40 148	75.2
10	9	24	24	37	9 28	51	16 35	45	13 32	190	38 152	76
11	9	24	24	37	9 28	51	17 34	45	14 31	190	40 150	76
12	9	24	24	37	9 28	51	16 35	45	13 32	190	38 152	76
1	9	24	24	37	9 28	51	16 35	45	13 32	190	38 152	76
2	11	24	24	37	9 28	51	16 35	45	14 31	192	39 153	76.8
3	11	24	24	37	9 28	51	16 35	45	14 31	192	39 153	76.8

2) 学級編成

(3月31日現在 192人)

クラス	年 齢	男児	女児	計	外国人	要支援児	担任数
ちゅうりっぷ	0歳児	4	7	11	1	0	3
ひまわり	1歳児	5	7	12	0	0	2
たんぽぽ		3	9	12	0	0	2
さくら	2歳児	7	5	12	0	0	2
ば ら		7	5	12	0	0	2
ぱんだ	3歳児	5	9	14	1	2	1
うさぎ		6	6	12	0	0	1
こあら		5	6	11	1	1	1
ぞ う	4歳児	15	11	26	2	1	1
く ま		13	12	25	2	2	1
らいおん	5歳児	11	12	23	1	1	1
きりん		10	12	22	2	2	1
給食業務							7
担 任 外							13
支援センター							2
計		91	101	192	10	9	40

(正規職員 18人、非常勤職員 22人)

3) 年間主要行事

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	始業式	11	施設防災訓練 (炊き出し訓練)
	入園式		サツマイモ掘り (5歳)
	保護者の会総会・クラス懇談		泥団子づくり (5歳)
5	城東学園引き渡し訓練		参観講演会 (5歳)
	こいのぼり会		サッカー教室 (5歳)
	城東中学校城翼祭 (5歳)		給食自由参観 (3.4.5歳)
	交通安全教室 (4.5歳)		花育教室 (5歳)
	親子バス遠足 (4.5歳)		視力検査 (4歳)
	参観会 (0.1.2.3歳)	12	発表会 (4.5歳)
6	プール開き		クリスマス会
	民生委員児童委員訪問		終業式
	花火教室	1	始業式
	七夕会		餅つき会
7	夏まつり	2	ことばの教室一斉検査 (4歳)
	プール自由参観 (3.4.5歳)		第二回評議員会
	個別面談 (0.1.2.3歳)		豆まき会
	終業式		発表会 (4.5歳児)
	城東中交流 (職場体験)		光る泥団子づくり (5歳)
8	城東中交流 (福祉体験)		参観会 (0.1.2歳)
9	始業式		人権教室 (4.5歳)
	プール納め		交通安全教室 (5歳)
	交通安全教室 (3.4.5歳)		トトロの会 (0.1.2歳)
	祖父母参観 (2日に分けて実施))	3	ひなまつり会
10	運動会 (3.4.5歳児)		城東学園音楽祭
	秋の遠足 (4.5歳児)		お別れ会
	お楽しみ弁当の日 (0.1.2.3歳児)		修了式
	収穫祭		卒園式

4) 避難訓練

年間を通して、地震、火災、保護者参加の引き渡し訓練、炊き出し訓練等、あらゆる場合を想定して訓練を実施した。

月	日	訓練種別	災害状況想定	訓練目的及び内容
4	25	避難誘導訓練	保育中、地震発生、火災発生	地震について伝える。防災頭巾の被り方確認 避難の仕方、避難場所を確認。
5	1	避難誘導訓練 引き渡し訓練	保育中、地震発生、火災発生、	地震時の行動（机の下、指示を聞くなど）地震の 避難方法を再確認。保護者への引き渡し訓練を実施し、確認。
6	4	避難誘導訓練	保育中（雨天）、地震発生後火災発生	雨の場合の避難方法、避難場所、雨除け方法確認。 消火器の場所、使い方を確認。
7	3	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 保育室から火災発生	水遊び、プール時の避難、誘導方法確認。 消火器の場所、使い方を確認。
8	8	避難誘導訓練	朝保育中、地震発生後 火災発生	朝保育時の避難方法を確認。 職員の避難誘導方法、人数確認について確認。
9	24	避難誘導訓練	給食後、地震発生後 火災発生、	給食後保育室内での地震発生時の避難方法確認。 AED 持ち出し訓練。
10	30	避難誘導訓練	保育中、給食室から 火災発生	給食前の地震発生時の避難方法を確認。放送設備 の取り扱い方法を確認。支援 S 参加方法確認。
11	1	施設防災訓練	保育中、地震発生後火災発生	避難誘導、炊き出し訓練実施。防災倉庫の点検。 発電機の取り扱い。備蓄品確認。
12	10	避難誘導訓練	集会時、地震発生後 火災発生	集会時、避難誘導訓練実施。指示内容を静かに聞く方法確認。減災教育について共通理解。 消火器の持ち出し訓練実施、確認。通報訓練実施。
1	27	避難誘導訓練	給食中、地震発生後 給食室から火災発生	職員は連携をとり役割分担の確認。 AED 持ち出し訓練。園児救護訓練に伴う担架利用 方法確認、三角巾による怪我対応方法確認。
2	27	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 地震と火災発生	AED 持ち出し訓練。園児救護訓練に伴う担架利用 方法確認、三角巾による怪我対応方法確認。
3	17	避難誘導訓練	保育中、地震発生後、 給食室から火災発生	午前の保育中地震発生時の避難方法確認。 消火器持ち出し訓練。

5) 不審者防犯訓練

毎月 1 回防犯訓練を行う中で、園児の安全確保の方法や職員間の連携、役割等の検討改善に努めた。

6) 健康管理

月	実施日	検査内容	対象者	備 考
4	4/17	尿検査（一次）	3, 4、5 歳児	静岡県予防医学協会
5	5/2、5/22	尿検査（二次、三次）	3, 4、5 歳児	静岡県予防医学協会
5	5/14、5/28	内科検診	園児全員	大貫園医
5	5/10、5/22	歯科健診	園児全員	中島園医
6	6/25	職員健診	職員	笠南医療センター
10	10/1、10/8	内科健診	園児全員	大貫園医
11	11/14、11/21	インフルエンザ予防接種	職員	鷺山医院
11		ストレスチェック	職員	静岡県予防医学協会
10	10/30、31	視力検査	4 歳児	園実施

* 園児は毎月発育測定、職員は毎月保菌検査を実施した。（給食職員は月 2 回、ノロ年 1 回）

* 4・5 歳児はフッ素洗口を毎日実施した。

7) 訪問・教室

＊茶道体験（5歳児）各クラス年2回。

8) 延長保育利用者数（7：00～7：29）

月	一日平均(人)	月	一日平均(人)	月	一日平均(人)
4	5.4	8	7.6	12	4.75
5	5.8	9	7.6	1	3.8
6	3.8	10	8.4	2	3.2
7	6	11	7.6	3	3.83

＊年間延べ人数 1931名（一日平均7.4名）

9) 給食（食育）

給食が子どもたちの楽しみになるよう、「意欲的に楽しく食べる元気な子」を目標に、安心して安全、そしておいしい給食を提供することに努めた。また、給食担当者は衛生面や健康面をしっかりと配慮しながら調理を行った。アレルギー児への対応では除去食や代替食、乳児向けの離乳食について、保護者や担任と連携しながら進めた。

給食担当者が保育室で子どもたちの食事の様子を見たり、担任から話を聞いたりすることで、一人ひとりの好き嫌いや適切な食事量を把握し、成長に必要な栄養をしっかりと確保できるようにした。また、4月と10月の年2回、子どもの身長と体重を測定し、成長曲線に記録することで個々の栄養管理を行った。これに基づき、給食の栄養目標量も見直した。

食育活動では、食材の展示や「ぱくぱくらんど」での栄養指導、絵本や紙芝居を使った活動、食育かるたを取り入れ、子どもたちが食べ物や栄養に興味を持ち、「食べたい！」と思える意欲を育てることを目指した。

保護者向けには、毎日のサンプル食や三色食品群ボードの展示、アンケート調査、食育活動の紹介、給食メニューのレシピ配信などを行った。

法人栄養士会議では、各園の新メニューや行事食、食品衛生や栄養管理について意見を交換した。また、5月の法人給食研修会では、手洗いの正しい方法を改めて確認したり、各園の「ヒヤリハット」の報告事例を共有したりしながら、給食担当者のスキルアップに努めた。

10) 主な職員研修

①施設外研修

月 日	研 修 名	人数	主催者
4月12日	特別支援コーディネーター研修会	1	掛川市こども希望課
4月20日	掛川小笠保育士会総会 記念講演	2	掛川小笠保育士会
5月15日	保育連合会西部支部総会研修会	1	静岡県保育連合会
5月15日	キャリアアップ（障害児保育）障害の理解	1	袋井市子ども未来課
5月14日	掛川小笠保育士会給食研修会	1	掛川小笠保育士会
5月18日	かけがわ未来学会総会講演会	13	かけがわ未来学会
5月20日	虐待講演会	1	掛川市こども希望課
5月30日	キャリアアップ研修会（乳児保育）	2	かけがわ未来学会
6月6日	キャリアアップ研修会（乳児保育）	2	かけがわ未来学会
6月14日	キャリアアップ研修会（食育・アレルギー）	1	袋井市子ども未来課
6月21日	未来学会発達支援部	1	未来学会
6月21日	静岡県保育連合会総会	1	静岡県保育連合会
6月22日	キャリアアップ研修会（幼児教育）	1	菊川市子ども未来部 こども政策課
6月25日	未来学会健康安全部研修会	1	かけがわ未来学会
6月26日	未来学会教育研究部研修会	1	かけがわ未来学会
6月29日	小笠地区乳幼児保健会総会	1	小笠地区乳幼児保健会
7月5日	キャリアアップ研修会（食育・アレルギー）	1	袋井市教育委員会
7月9日	キャリアアップ研修会（乳児保育）	2	かけがわ未来学会

7月12日	キャリアアップ研修会（マネジメント）	4	かけがわ未来学会
7月16～18日	キャリアアップ研修会（乳児保育）	1	静岡県保育連合会
7月17日	キャリアアップ研修会（障害児保育）	1	袋井市教育委員会
7月20日	キャリアアップ研修会（幼児教育）	1	菊川市子ども未来部 こども政策課
7月25日	未来学会発達支援部研修	1	かけがわ未来学会
7月26日	キャリアアップ研修会（幼児教育）	1	菊川市子ども未来部 こども政策課
7月28日	保育士等キャリアアップ研修（乳児保育）	2	かけがわ未来学会
8月1日	事例検討会 講話「ことばと食べる」	1	こども発達センターめばえ
8月4日	キャリアアップ研修（食育）	2	磐田市
8月5日	キャリアアップ（障害）	1	袋井市子ども未来課
8月18日	キャリアアップ研修（食育）	2	かけがわ未来学会
8月22日	静岡県幼児教育の理解	1	静岡県教育委員会文部科学省
8月23日	未来学会遊び研究部研修	1	かけがわ未来学会
8月27日	未来学会発達支援部研修	1	かけがわ未来学会
9月4～6日	キャリアアップ研修（障害児保育）	1	静岡県保育士会
9月9日	未来学会教育研究部研修	1	かけがわ未来学会
9月18日	キャリアアップ研修（障害児保育）	1	袋井市教育委員会
9月19日	掛川小笠保育士会グループ研	1	掛川小笠保育士会
9月20日	未来学会遊び研究部研修	1	かけがわ未来学会
9月20日	未来学会発達支援部研修	1	かけがわ未来学会
9月21日	掛川小笠保育士会研究発表	4	掛川小笠保育士会
10月16日	キャリアアップ研修（障害児保育）	1	袋井市教育委員会
10月21日	キャリアアップ研修（食育）	1	一般社会法人静岡県保育連合会
10月25日	未来学会発達支援部研修	1	かけがわ未来学会
10月25日	未来学会遊び研究部研修	1	かけがわ未来学会
10月29日	主任保育士・主幹保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
10月29日	キャリアアップ研修（保護者支援）	1	一般社会法人静岡県保育連合会
10月30日	未来学会園経営部研修	1	かけがわ未来学会
11月1日	キャリアアップ研修（保護者支援）	1	一般社会法人静岡県保育連合会
11月9日	小笠地区乳幼児保健講演会	1	小笠地区乳幼児保健会
11月12日	未来学会遊び研究部研修	1	かけがわ未来学会
11月13日	キャリアアップ研修（食育）	1	静岡県保育士会
11月16日	第18回かけがわ教育の日	3	掛川市教育委員会
11月22日	未来学会健康安全部研修会	1	かけがわ未来学会
11月13～15日	キャリアアップ研修会（マネジメント）	1	静岡県保育士会
11月26日	民間防災組織指導者消防学校体験入学	1	静岡県幼小年女性防火委員会
12月9日	キャリアアップ研修（保護者支援）	1	一般社会法人静岡県保育連合会
1月15日	給食関係者研修会	1	西部保健所推進課
1月23日	幼児教育と小学校接続研修会	2	掛川市こども希望課 学校教育課
2月8日	保育のつどい	2	掛川小笠保育士会
2月10日	幼保小の架け橋プログラム事業成果報告会	1	文部科学省

城東学園

- ・校長園長会、教務園務会、全体研修会
- ・園小連絡会（土方、中、佐東）

②施設内研修

*子育て支援部

3園全体研修会（年1回）

子育て支援部歳児別研修（各園1回ずつ）

新人職員研修（各年2回） リーダー研（乳児、幼児年1回）

3園合同給食研修会（年1回）

*法人会議

施設長会議、園長会、副園長会、主幹研修会（年5回）、給食会議（月1回）

*園内会議・研修

職員会議、園内研修（月1回）・乳児会議、幼児会議・学年会議

※掛川市こども希望部園訪問（1回）、未来学会教育研究部園訪問（1回）

11) 実習生・ボランティア受け入れ

種 別	期 間	延べ人数	学校・団体等
保育実習	5/20～5/31	1	常葉大学
	2/12～2/28	1	浜松学院大学
インターンシップ	2/3～2/7	2	静岡県立横須賀高校
中学生職場体験	7/24～8/31	11	掛川市立城東中学校
	10/1～10/3	5	掛川市立大浜中学校
	11/6～11/8	6	掛川市立掛川東中学校
中学生ボランティア	7/22～7/23	1	掛川市立城東中学校
中学生福祉体験	8/1～8/2、8/5～8/9	74	掛川市立城東中学校
合計		101	

12) 地域交流活動

種 別	期日	参加人数（名）
畑作業	5/2、6/26	2人
七夕	7/4	4人
トウモロコシ狩り	7/11	5人
コスモス畑交流	11/20	3人
光る泥団子作り	2/20	17人
絵本読み聞かせ	9月～毎月1回	41人
計		72人

3 子育て支援センター事業

子どもの健やかな成長を支援し、子育て中の親同士の交流を促進することで子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安を和らげることを目的として事業を進めた。温かくアットホームな雰囲気の中で、親子がゆったり過ごしたり、季節の行事や制作を楽しんだりしながら、親子同士の交流や育児相談ができる場を目指している。

それぞれの年齢に応じた子どもへの適切な援助を行い、利用者が安心して遊べる場所、育児について学べる場となることを目指している。そのため、気軽に相談しやすい環境を整え、保護者に寄り添い、心の拠り所となるサポートを提供したいと考えている。

1) 活動内容

ホール開放、支援活動、園庭開放、絵本読み聞かせ、身体測定、電話・来園相談 等

月	支援活動内容	月	支援活動内容
4	こいのぼり製作、手形アート（ちゅうりっぷ）	10	運動遊び、手形アート（ハロウィン）、ハロウィンイベント、防災講座
5	シャボン玉、手形アート（ひよこ）、作ってあそぼう（ちょうちょ）	11	お散歩、手形アート（トトロ）、出前保育、絵本講座、
6	新聞紙で遊ぼう、手形アート（てるてる坊主）スタンプあそび、父の日プレゼント作り、出張のびる〜む	12	3 支援センター合同クリスマス会、手形アート（クリスマスツリー）、クリスマス製作、食育講座
7	七夕飾り作り、水遊び、手形アート（魚）3 支援センター合同夏祭り	1	お正月遊び、鬼のお面作り、豆まき会 手形アート（だるまさんの）
8	水遊び、手形アート（かき氷） 水遊びおもちゃ作り	2	おひな様作り、楽器であそぼう、音楽コンサート、手形アート（ダッフィー＆シェリーメイ）、親子運動講座、出張のびる〜む
9	敬老の日プレゼント作り、手形アート（親子スマイル手形）、こども園見学ツアー	3	ひなまつり製作、手形アート（はらぺこあおむし）、おおきくなったね会

開館時間 9：00～15：00（室内消毒12:00～13:00）

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

月	利用者数（人）		相談件数（件）	月	利用者数（人）		相談件数（件）
	大人	子ども			大人	子ども	
4	44	47	3	10	97	104	3
5	53	58	5	11	104	116	3
6	89	97	2	12	105	116	2
7	53	58	8	1	101	117	6
8	42	45	3	2	185	199	2
9	105	111	4	3	141	148	2
合計					1119	1216	43

4 一時預かり幼稚園型事業

1 号認定児を保護者の希望によって教育課程修了時以降、預かり保育を行った。

月	利用延べ人数	月	利用延べ人数	月	利用延べ人数
4	87	8	14	12	78
5	86	9	82	1	76
6	49	10	112	2	79
7	109	11	93	3	85
計					950

令和6年度 おおさか子ども園拠点区分事業報告書

1 令和6年度の総括

令和4年度より、文部科学省の「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」の研究指定園として、掛川市や大坂小学校と連携しながら研究を進めてきた。今年度はまとめの最終年となり、カリキュラムの実施・検証を通じて、小学校との相互理解を深めるとともに、教育内容や方法についての連携を強化した。また、公開保育を実施し、多くの意見をいただく中で、意見交換を重ねながら、遊びの充実や環境の見直しを行い、職員の資質向上につなげた。

運営面においては、本年度より1号認定児の定員を75名から35名に変更し、利用定員を計260名とした。4月時点で187名でのスタートであったが、0歳児を4名受け入れるなど市と調整を図りながら積極的な受け入れをし、年度末には192名となった。また職員間の連携を重視し、柔軟な職員配置により保育の円滑な運営を実現した。また、0歳児の途中入園も多く受け入れ、収入の確保にもつながった。産休・育休中の職員の代替職員を配置しない状況であったが、職員同士が理解と協力を深め、運営を支えることができた。

さらに、保護者のニーズに応えるため、外部の体操教室を開催した。各学年で20名弱の園児が参加し、送迎が難しい保護者にも好評を得た。子どもたちは体操教室を楽しみ、登園の励みとする子も見られた。職員のノーコンタクトタイムを確保することで、時間の有効活用にもつながった。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 全体 (R6.4.1～R7.3.31)

定員 260名 (1号 35名、2号 160名、3号 65名)

歳児 月	0歳 児	1歳児	2歳児	3歳 児	1号 2号	4歳 児	1号 2号	5歳 児	1号 2号	計	1号 2.3号	定員割 合(%)
4	7	22	28	39	12 27	39	9 30	52	6 46	187	27 160	71.9
5	7	22	29	39	12 27	39	9 30	52	6 46	188	27 161	72.3
6	7	23	28	39	13 26	39	9 30	52	7 45	189	29 160	72.6
7	8	23	29	39	13 25	39	9 30	52	7 45	190	29 161	73.0
8	10	23	30	38	13 25	39	9 30	52	7 45	192	29 163	73.8
9	10	23	30	38	13 25	39	9 30	52	7 45	192	29 163	73.8
10	10	23	30	38	13 25	38	9 29	52	6 46	191	28 163	73.4
11	12	23	30	38	13 25	38	9 29	52	6 46	193	28 165	74.2
12	12	23	30	38	13 25	38	9 29	52	7 45	193	29 164	74.2
1	12	23	30	38	13 25	38	9 29	52	7 45	193	29 164	74.2
2	12	23	30	38	12 26	38	9 29	52	6 46	193	28 165	74.2
3	12	22	30	38	12 26	38	9 29	52	6 46	192	27 165	73.8

2) 学級編成

(3月31日現在 192人)

クラス	年 齢	男児	女児	計	外国人	要支援児	担任数
いちご	0 歳児	8	4	12	0	0	4
ばなな	1 歳児	6	5	11	1	0	2
みかん		6	5	11	1	0	2
めろん	2 歳児	10	8	18	1	1	3
もも		8	4	12	0	2	2
ぱんだ	3 歳児	6	6	12	2	0	1
く ま		7	6	13	1	1	1
ぞ う		6	7	13	1	0	1
ひまわり	4 歳児	8	11	19	0	0	1
ば ら		10	9	19	1	1	1
に じ	5 歳児	13	13	26	1	1	1
そ ら		13	13	26	2	0	1
給食業務							8
担 任 外							11
支援センター							2
計		101	91	192	11	6	41

(正規職員 18 人、非常勤職員 22 人 育休 2 人)

3) 年間主要行事

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	始業式	11	施設防災訓練
	入園式		七五三
	保護者会総会(ネット評決)		収穫祭
	理学療法士講演会		座禅体験
5	こいのぼり集会		茶道体験
	参観会 (3.4.5 歳児)		親子花育教室(5 歳児)
6	収穫祭		理学療法士講話(5 歳児)
	プール開き		ジュビロサッカー教室(5 歳児)
	座禅体験 (雨天の為、園訪問))	12	ぽかぽか発表会(2.3 歳児)
	園評議員会		クリスマス会
7	七夕会		親子しめ縄作り(5 歳児)
	夏祭り		終業式
	プール自由参観(3.4.5 歳児)	1	始業式
	個別面談 (3.4.5 歳児)		もちつき会
	民生委員児童委員訪問	2	理学療法士訪問、講話
8	終業式		豆まき会
	個別面談 (0.1.2 歳児)		ぽかぽか発表会 (4.5 歳児)
	理学療法士訪問、講話		
9	始業式		園評議員会
	引き渡し訓練		交通安全教室 (5 歳児)
	プール納め	3	園小交流会(5 歳児)
	祖父母参観(3.4.5 歳児)		大浜学園ふれあいコンサート(5 歳児)リモート
	交通教室 (3 歳児)		バス遠足 (5 歳児)
10	運動会 (3.4.5 歳児)		ひな祭り会

	交通安全教室(4.5歳児)		修了式
	参観講演会(0.1.2歳児)		卒園式(5歳児)

保護者の一日先生体験は年間を通して8回実施した。茶道教室は年間2回実施した。

4) 避難訓練

年間を通して、地震、火災、保護者参加の引き渡し訓練、炊き出し訓練等、あらゆる場合を想定して訓練を実施した。

月	日	訓練種別	災害状況想定	訓練目的及び内容
4	18	避難誘導訓練	地震火災発生	避難の仕方避難場所を知る。消火器の位置や取り扱い方法を確認する。(職員)
5	10	避難誘導訓練	保育中、地震発生後火災発生	防災頭巾の被り方を覚える。火災と地震の避難方法を知らせる。
6	6	避難誘導訓練	保育中、地震発生後火災発生	避難方法、場所の確認をする。消火器の使い方を確認する。
7	12	避難誘導訓練	保育中、地震発生後給食室から火災発生	緊急速報を聞き落ち着いて避難する。消火器の取り扱いに慣れる。
8	26	避難誘導訓練	保育中(水遊び)、地震発生後火災発生	水遊び中の避難の仕方を覚える。園児への情報伝達、避難指示を知る。
9	11	避難誘導訓練	保育中、地震発生後火災発生	逃げ遅れ者の確認。消防署への通報訓練。引き渡しについての確認。
10	8	避難誘導訓練	保育中、給食室から火災発生	地震と火災の合図の違いがわかり避難する。放送設備の取り扱い方法の確認。
11	1	施設防災訓練	自由遊び中、地震発生後火災発生	避難誘導、炊き出し訓練。防災庫の点検。発電機の取り扱い。救護訓練、消防署への通報訓練。水消火器を用いた
12	5	避難誘導訓練	保育中、地震発生後給食室から火災発生	逃げ遅れ者の確認。消火器の持ち出し訓練。
1	16	避難誘導訓練	自由遊び中、給食室から火災発生	職員は連携をとり役割分担の徹底を図る。自由遊び中の人数確認の徹底。
2	13	避難誘導訓練	保育中、地震と火災発生	避難方法、避難経路人数把握など。水消火器を使つての模擬消火訓練。消防署への通報訓練。
3	6	避難誘導訓練	自由遊び中給食室から火災発生	合図、指示を理解し、敏速に行動する。予告なしの実施訓練にも慌てず、臨機応変に行動する。

5) 不審者防犯訓練

毎月1回防犯訓練を行う中で、園児の安全確保の方法や職員間の連携、役割等の検討改善に努めた。

6) 健康管理

月	実施日	検査内容	対象者	備 考
4	17	尿検査(一次)	4・5歳児	静岡県予防医学協会
5	2	尿検査(二次)	4・5歳児	静岡県予防医学協会
5	16 23	内科検診	園児全員	大貫園医
6	13 20	歯科健診	園児全員	牧野園医
6	19	職員検診	職員	笠南医療センター
7	1	職員検診	職員	笠南医療センター
10	10 17	内科検診	園児全員	大貫園医
10		ストレスチェック	職員	静岡県予防医学協会
10	4 10 18 23	インフルエンザ予防接種	職員	鷺山医院

*園児は毎月発育測定、職員は毎月保菌検査を実施した。(給食職員は月2回、ノロ年1回)

*4・5歳児はフッ素洗口を毎日実施した。

7) 訪問・教室

＊茶道体験（５歳児）各クラス年１回。

＊大東苑・くによす苑・小笠の郷との交流は感染拡大防止のため、今年度は全て中止した。

８）延長保育利用者数（７：００～７：２９）

月	一日平均(人)	月	一日平均(人)	月	一日平均(人)
４	７.６	８	７.０	１２	６.０
５	８.８	９	７.８	１	８.２
６	９.５	１０	８.６	２	１０.１
７	９.５	１１	８.１	３	９.６

＊年間延べ人数 １９３１名（一日平均 ７.４名）

９）給食（食育）

常に衛生面、健康面に留意しながら「季節の食材や食べることに興味を持ち、好きな食べ物が増える子」を目標に安全でおいしい給食づくり、健康な体づくりに努めた。栄養士、調理員が毎月「栄養ランド」を開いた。栄養ランドでは、食物に関するクイズや話を、園児にわかりやすく、さらに興味を持ってもらえるような内容となるように給食職員で計画し、その様子を給食だよりで配信して保護者に紹介した。５歳児の廊下に設置している食育コーナーは、季節感を大切に、定期的に新しい媒体を作成した。実際に野菜を育て収穫する食育活動は、収穫した野菜を給食の食材として使用することで食べ物に対する興味を育むことができた。給食室を見学できることで、調理する姿をみせることができ、園児の給食への関心が高まった。また、給食職員が毎日クラスで給食と一緒に食べることで、その日の給食が実際の食育の媒体となり、子どもたちも徐々に苦手な物も食べてみようとする姿勢がみられた。給食に使われている食材を、赤・黄色・緑の食べ物（３色食品群）に分類ができるように献立表に記載しているため、園児にもわかりやすく、食材の分類を楽しんで取り組む姿がみられた。定期的に「かみかみメニュー」を献立に組みこみ、咀嚼力向上を目指したことで良く噛んで食べる姿につながった。また、学校給食等で発生した誤嚥事故を受け、使用できる食材に限られる中、安易に禁止食材を増やすのではなく、食べやすい形状になるように調理方法の工夫や適切な大きさになるようにカットするなど、臨機応変に対応した。

給食サンプルの展示をし、給食への関心を高めるよう努めた。年１回の嗜好調査では、家庭での食事状況の把握に努め、結果をおたより等で報告すると共に食育活動に反映させた。園児一人一人の身長、体重を成長曲線に記入し、個々の栄養管理に努め、栄養価の見直しにも反映させることができた。成長曲線から大きく外れている子は、栄養士が個々に保護者と面談をして、定期的に栄養相談を行った。

アレルギー児対応、乳児の離乳食作りにも配慮し、園と家庭での連携を取りながら今後も安全な給食提供を心掛けていく。

①施設外研修

月 日	研 修 名	人数	主催者
４月 20 日	掛川小笠保育士会総会 記念講演	3	掛川小笠保育士会
４月 23 日	第 1 回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課
５月 9 日	第 1 回 かけがわ型架け橋カリキュラム開発会議	2	掛川市教育委員会
５月 16 日	第 1 回 歳児別グループ研修会	1	掛川小笠保育士会
５月 18 日	かけがわ乳幼児教育未来学会 記念講演	16	未来学会
５月 20 日	要保護児童対応研修会	1	こども希望課
５月 28 日	第 2 回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課
５月 30 日	保育士等キャリアアップ研修	3	未来学会
６月 6 日	かけがわ型架け橋公開保育 第 1 回掛川市幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会	6	掛川市教育委員会
６月 6 日	かけがわ乳幼児教育未来学会 キャリアアップ研修	3	掛川市教育委員会
６月 14 日	保育士・保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
６月 14 日	第 2 回 かけがわ型架け橋カリキュラム開発会議	5	掛川市教育委員会

6月21日	かけがわ乳幼児教育未来学会 発達支援部	1	未来学会
6月22日	保育士等キャリアアップ研修 (菊川)	1	掛川乳幼児未来学会
6月25日	かけがわ乳幼児教育未来学会 健康安全研究部第一回	1	掛川乳幼児未来学会
6月25日	第3回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課
6月26日	かけがわ乳幼児教育未来学会 教育研究部第一回園務主任研修会	1	掛川乳幼児未来学会
6月26日	大浜学園全体集会	8	大浜学園
7月9日	保育士等キャリアアップ研修	3	掛川乳幼児未来学会
7月16日	第3回 かけがわ型架け橋カリキュラム開発会議	2	掛川市教育委員会
7月18日	第2回 歳児別研修会	1	掛川小笠保育士会
7月19日	大浜学園夏季集会	12	大浜学園
7月20日	保育士等キャリアアップ研修	2	掛川乳幼児未来学会
7月23日	第4回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課
7月26日	保育士等キャリアアップ研修	2	掛川乳幼児未来学会
7月27日	2024 療育後援会	5	掛川小笠保育士会
7月30日	大坂小夏季研修「特別支援教育」	6	大坂小学校
8月1日	普通救命講習Ⅲ	2	消防署
8月2日	男性保育職員交流研修会	1	県保育連合西部支部
8月6日	かけがわ乳幼児教育未来学会 教育研究部 第2回園務主任研修会	2	掛川乳幼児未来学会
8月23日	かけがわ乳幼児教育未来学会 遊び研究部実技研修	2	掛川乳幼児未来学会
8月26日	かけがわ乳幼児教育未来学会 保育士等キャリアアップ研修	3	掛川乳幼児未来学会
8月27日	第5回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課
7月12日 8月5、27日	保育士等キャリアアップ研修 マネジメント	1	掛川乳幼児未来学会
8月27日	かけがわ乳幼児未来学会 発達支援部	1	掛川乳幼児未来学会
9月2日	第4回 かけがわ型架け橋カリキュラム開発会議	2	掛川市教育委員会
9月4日	保育士等キャリアアップ研修	2	掛川乳幼児未来学会
9月5日	保育士等キャリアアップ研修	2	掛川乳幼児未来学会
9月6日	保育士等キャリアアップ研修	2	掛川乳幼児未来学会
9月9日	かけがわ乳幼児未来学会 教育研究部	1	掛川乳幼児未来学会
9月13日	初任職員研修会	1	県保育連合西部支部
9月19日	2歳児Dグループ研修会	1	掛川小笠保育士会
9月20日	かけがわ乳幼児未来学会 健康安全研究部 保健衛生・安全対策 ～教育・保育施設などにおける事故防止及び事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン～	2	掛川乳幼児未来学会
9月20日	かけがわ乳幼児未来学会 遊び研究部実技研修	2	掛川乳幼児未来学会
9月21日	掛川小笠保育士会 研究発表	10	掛川小笠保育士会
9月24日	第6回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課
10月4日	かけがわ型架け橋 公開保育	2	掛川市教育委員会
10月25日	かけがわ乳幼児未来学会 発達支援研究部講話	1	掛川乳幼児未来学会
10月25日	かけがわ乳幼児未来学会 遊び研究部実技研修	2	掛川乳幼児未来学会
10月28日	主任保育士・主幹保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
10月29日	第7回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課
10月29日	主任保育士・主幹保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
11月7日	保育士・保育教諭研修会 (危機管理)	1	静岡県保育士会
11月8日	第6回 かけがわ型架け橋カリキュラム開発会議	2	掛川市教育委員会
11月14日	保育士等キャリアアップ研修	2	掛川乳幼児未来学会

11月16日	かけがわ教育の日	1	掛川市教育委員会
11月18日	保育士等キャリアアップ研修	4	静岡県保育士会
11月21日	第4回 歳児別研修会	3	掛川小笠保育士会
11月22日	かけがわ乳幼児未来学会 遊び研究部	2	掛川乳幼児未来学会
11月26日	第8回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課
11月29日	保育士等キャリアアップ研修	1	静岡県保育士会
12月4日	保育士・保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
12月9日	保育士等キャリアアップ研修（乳児保育）	1	静岡県保育士会
12月13日	第7回 かけがわ型架け橋カリキュラム開発会議	2	掛川市教育委員会
12月17日	第9回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課
12月18日	保育士等キャリアアップ研修	2	静岡県保育士会
11月1日 ～1月10日	保育士等キャリアアップ研修（障害児保育）	2	静岡県保育連合会
1月15日	保育所等給食関係者研修会	1	西部保健所
1月23日	第10回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課
2月1日	掛川小笠保育士会 保育のつど 10	10	掛川小笠保育士会
2月6日	保育士・保育教諭研修 食物・アレルギー	1	静岡県保育士会
2月25日	第11回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課
3月11日	第12回 掛川市子育て支援所連絡会	1	こども政策課

＊大浜学園

- ・園長校長研究部会、園務教務研究部会、生徒指導部会に年4回ずつ出席
- ・全体研修会に5名参加(千浜小)
- ・園小連絡会を年2回実施
- ・異校種交流に正規職員参加(大坂小)

②施設内研修

＊子育て支援研修会

- ・歳児別部会を各園1回ずつ実施、新人部会
- ・リーダー部会を年2回実施
- ・子育て支援部研修会を1回実施

＊法人会議

- ・施設長会議、園長会、副園長会、給食会議を毎月1回実施、主幹会議を5回実施
- ・園内研修を毎月実施、必要に応じて適宜追加で実施
- ・リーダー会議は学期に1回実施
- ・幼児、乳児、学年会議は随時実施

11) 実習生・ボランティア受け入れ

種 別	期 間	延べ人数	学校・団体等
保育実習	5/27～6/14	30	常葉短期大学（2名）
	6/3～6/21	15	浜松みらい総合専門学校
	8/20～8/22	11	常葉大学
	1/27～2/12	12	浜松学院短期大学
	2/3～2/22	15	東海大学
	27/5～2/19	10	常葉大学
ふれあい体験学習	10/28・11/6・11/12	92	大浜中学校
保育体験実習	11/13	35	横須賀高校
計		98	

12) 地域交流活動

種 別	期	参加人数
野菜の苗植え	5 月 2 日	2 人
玉ねぎ収穫	5 月 2 日	6 人
じゃがいも収穫	5 月 31 日	8 人
収穫祭・カレー試食	6 月 7 日	3 人
さつまいもつるさし	6 月 14 日	4 人
大根種まき	9 月 9 日	1 人
さつまいも掘り	10 月 28 日	7 人
玉ねぎ植え	11 月 12 日	5 人
しめ縄作り	12 月 19 日	10 人
じゃがいも植え	2 月 14 日	6 人
計	10 日間	52 人

3 子育て支援センター事業

親子が気軽に利用できる場を提供し、子育て中の親同士が知り合うきっかけとなる場を作ること
を目的として事業を進めてきた。親子が利用しやすい環境を整えるとともに、子育てに関する不安
や悩みを語り合える温かい雰囲気を作ることを心掛けた。また、季節の遊びやイベントなど、親子
で楽しめる内容を工夫しながら取り組み、育児の悩み解消やヒントを提供する講座も開催してきた
ものである。天気の良い日には、支援センター横の「ワーイの森」にて親子がのびのびと触れ合う
姿が見られ、笑顔で交流を楽しむ様子が印象的であった。

今後も地域の親子が安心して利用できる場を提供し続けるべく、親しまれる支援を目指し、新し
い活動を取り入れることで、取り組みを推進していく。

1) 活動内容

ホール開放、支援活動、園庭開放、絵本読み聞かせ、身体測定、電話・来園相談等

月	支援活動内容	月	支援活動内容
4	こいのぼり製作 歳児別サークル 誕生会 母の日のプレゼント製作	10	歳児別サークル 食事・離乳食相談 園見学
5	こいのぼりの集い 歳児別サークル	11	3施設合同出前保育 親子交通安全教室 歳児別サークル
6	父の日のプレゼント製作 園栄養士の栄養相談 歳児別サークル	12	3施設合同クリスマス会 歳児別サークル
7	プール遊び 3施設合同夏祭り 歳児別サークル	1	鬼のお面製作 歳児別サークル
8	プール遊び	2	おひな様製作 歳児別サークル
9	祖父母のプレゼント製作 園見学 歳児別サークル	3	記念製作

開館時間 9:00～15:00 (室内消毒の為12:00～13:00は休み)

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

月	利用者数 (人)		相談件数 (件)	月	利用者数 (人)		相談件数 (件)
	大人	子ども			大人	子ども	
4	30	32	3	10	64	82	6
5	48	54	4	11	50	66	2
6	37	46	4	12	47	56	2
7	45	49	2	1	59	74	3

8	28	34	2	2	54	64	3
9	61	62	2	3	41	50	2
合計（年間）					564	669	35

4 一時預かり幼稚園型事業

1号認定児を保護者の希望によって教育課程修了時以降、預かり保育を行った。

月	利用延べ人数	月	利用延べ人数	月	利用延べ人数
4	45	8	47	12	83
5	53	9	105	1	107
6	92	10	91	2	85
7	84	11	90	3	84
合計（年間）					966

5 一時預かり一般型事業 令和3年11月～休止

一時預かり事業に配置する職員が確保できない為、休止。

令和6年度 ちはまこども園拠点区分事業報告書

1 令和6年度の総括

本年度は、園目標に基づき「自分の思いを出し生活する子」の育成を目指した。子どもの思いに寄り添い、伝えたいことに耳を傾け、受け止めたり共感したりすることを重視した結果、子どもが安心して自己表現しながら生活する姿へとつながった。

園内研修においては、全クラスの公開保育を実施した。子どもの成長を「10の姿」で捉え、多角的に観察することで新たな気づきが生まれ、保育の質の向上に寄与した。また、支援を必要とする子どもについての講話を聴講し、その支援方法を職員間で共有・実践した。加えて、保護者からの相談に対して共に考え、同じ視点に立って関わることで、子どもの成長および子育て支援につなげることができた。

運営面においては、本年度より1号認定児の定員を45人から25人に変更し、利用定員を計110人とした。4月時点では96人でのスタートとなったが、市と調整を図りながら乳児の積極的な受け入れを進めた結果、年度末には102人となった。また、開園以来初めて、運動会や発表会に園評議員を招待し、子どもたちの様子を観覧いただいた。その際、「子どもたちが日常の活動を思い切り表現していた」「こども園での生活を楽しんでいることが伝わってきた」などの評価を得ることができた。さらに、保護者に対しても行事を通じて子どもの育ちを伝える機会を設け、これまでの過程を大切にした取り組みや成長を共有することができた。

安全面については、職員全員でマニュアルの見直しを実施したが、保育の中で見落としていた点があることが判明した。そのため、改めて園内環境や職員間の連携を再検討し、改善点を洗い出すことで早急な対応に努め、安心・安全な環境の整備を進めることとする。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 (R6.4.1～R7.3.31) 定員110名 (1号25名、2号45名、3号40名)

歳 月	0歳 児	1歳 児	2歳 児	3歳児		4歳児		5歳児		計	定員割合 (%)
4	4	14	17	24	1号 8 2号 16	21	1号 6 2号 15	16	1号 3 2号 13	96	87.3
5	4	14	17	24	1号 8 2号 16	21	1号 6 2号 15	16	1号 3 2号 13	96	87.3
6	4	14	17	24	1号 8 2号 16	21	1号 6 2号 15	16	1号 3 2号 13	96	87.3
7	5	14	17	24	1号 8 2号 16	22	1号 7 2号 15	16	1号 3 2号 13	98	89.1
8	5	14	17	24	1号 8 2号 16	22	1号 7 2号 15	16	1号 3 2号 13	98	89.1
9	6	15	17	24	1号 8 2号 16	22	1号 7 2号 15	16	1号 3 2号 13	100	90.9
10	8	15	17	24	1号 8 2号 16	22	1号 7 2号 15	16	1号 3 2号 13	102	92.7
11	8	15	17	24	1号 8 2号 16	22	1号 7 2号 15	16	1号 3 2号 13	102	92.7
12	8	15	17	24	1号 8 2号 16	22	1号 7 2号 15	16	1号 3 2号 13	102	92.7

歳 月	0歳 児	1歳 児	2歳 児	3歳児			4歳児			5歳児			計	定員割合 (%)
1	8	15	17	24	1号 2号	8 16	22	1号 2号	7 15	16	1号 2号	3 13	102	92.7
2	8	15	17	24	1号 2号	8 16	22	1号 2号	7 15	16	1号 2号	3 13	102	92.7
3	8	15	17	24	1号 2号	8 16	22	1号 2号	7 15	16	1号 2号	3 13	102	92.7
合計	76	175	204	288	1号 2号	96 192	261	1号 2号	81 180	192	1号 2号	36 156	1196	90.6

2) 学級編成・職員数

3月31日現在 (人)

クラス	年 齢	男児	女児	計	外国人	要支援 児	職員
ひよこ	0歳児	4	4	8			3
りす	1歳児	9	6	15	2	1	3
うさぎ	2歳児	10	7	17		1	3
ぱんだ	3歳児	5	7	12	2		1
こあら	3歳児	7	5	12	1	1	1
きりん	4歳児	12	10	22	3	4	1
ぞう	5歳児	10	6	16	1		1
給食業務							3
担任外							8
支援センター							2
計							26

正規 11人
非常勤 15人

3) 年間主要行事

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	入園式 始業式 尿検査	10	運動会 内科健診 参観・講演会 サツマイモ収穫 収穫祭
5	親子バス遠足 玉葱収穫 体操教室 サツマイモつるさし いちご摘み 園小合同避難訓練 内科健診 園小連絡会 交通安全教室 民生委員訪問	11	玉葱苗植え 福祉施設防災訓練 防犯教室
6	園小交流会 歯科健診 ジャガイモ掘り 家族参観 プール開き 園評議員訪問 花火教室	12	発表会 (4,5歳) クリスマス会 しめ縄飾り作り (5歳) 終業式
7	七夕会 夏まつり 自由参観 終業式 個別懇談	1	始業式 餅つき会 茶道体験 園小合同避難訓練 陶芸教室 発表会 (2,3歳) 座禅体験
8	個別懇談	2	豆まき会 交通安全教室 陶芸教室
9	始業式 祖父母参観 交通安全教室	3	ひな祭り会 お別れ会 修了式 卒園式

4) 避難訓練 年間を通して12回（地震訓練9回、火災訓練2回、洪水訓練1回）を実施した。

月	日	訓練種別	災害状況想定	訓練目的及び内容
4	17	避難誘導訓練	地震・火災発生	地震の合図、避難方法を知る。
5	15	避難誘導訓練	保育中強度地震・津波発生	地震、津波発生。千浜小3階への避難方法を知る。(4,5歳)
6	14	避難誘導訓練	保育中強度地震発生 洪水発生	地震発生。避難方法を確認する。洪水発生時は屋上への避難方法を知る。(4,5歳)
7	9	避難誘導訓練	保育中火災発生	火災時の避難方法を確認する。
8	29	避難誘導訓練	自由遊び中強度地震発生	避難方法を確認する。
9	11	総合防災訓練	保育中強度地震発生・津波発生	保護者への引き渡し方法の確認をする。 防災倉庫、備蓄食の確認をする。
10	8	避難誘導訓練	登園後の地震発生	登園後すぐの避難方法を確認する。
11	1	総合防災訓練	社会福祉施設の防災訓練 (強度地震発生後、火災発生)	様々な訓練を行い、保育者自身の災害への意識を高めていく。(消火訓練・通報訓練・炊き出し訓練・救護訓練) 防災倉庫の用品を点検。
12	16	避難誘導訓練	給食前の給食室より火災発生	地震と火災の避難方法の違いを理解して行動する。
1	16	避難誘導訓練	保育中強度の地震・津波発生	地震、津波発生。小学校合同避難訓練として小学校3Fまで避難をする。
2	19	避難誘導訓練	保育中強度の地震発生	園外保育から帰って来る時の地震発生。職員の判断、連携を確認する。
3	25	避難誘導訓練	保育中火災発生	避難、消火活動についての確認をし、職員の災害に対する危機意識を高める。

5) 不審者訓練

年間計画に基づき、園児や職員が不審者への対応や安全確保の仕方について12回の訓練を行った。また、11月には掛川警察署による講習を行い、不審者に対しての話や実践訓練等、園児にもわかりやすい指導を受けた。

6) 健康管理

月	実施日	検査内容	対象者	備考
4	17・5/2・5/22	尿検査	3.4.5歳児	静岡県予防医学協会
5	17・31	内科健診	園児全員	笠原園医
6	6	歯科健診	園児全員	安間園医
6	19・27 7/1	健康診断	職員	笠南医療センター
10	4・11	内科健診	園児全員	笠原園医
11	13	ストレスチェック	職員	静岡県予防医学協会

*4.5歳児 フッ素洗口実施 *職員の保菌検査毎月実施。(給食担当者は月2回実施)

7) 訪問・教室

茶道体験(5歳児)は1回行った。

体操教室(4,5歳児)は年間3回行った。

くにやす苑へ1回交流で行き、その他遊技や歌の動画を送った。

8) 延長保育利用者数(7:00~7:29)

月	一日平均(人)	月	一日平均(人)	月	一日平均(人)
4	3.8	8	2.6	12	3.0
5	3.2	9	3.7	1	4.0
6	3.5	10	4.9	2	4.0
7	3.2	11	4.4	3	3.3

※年間延べ人数 870人 1日平均 3.6人

9) 給食（食育）

給食を楽しみの一つとし、生きる力の基盤となるよう、安心・安全な調理を心掛けた。また、アレルギー児への除去食や乳児への離乳食については、保護者と密に相談しながら提供することができた。

給食担当者はクラスへ出向き、園児の食べる様子を観察するとともに、担任への聞き取りを行い、個々の嗜好や適切な食事量を把握した。その上で、成長に必要な栄養量の確保に努めた。特に極端な偏食のある園児に対しては、毎日の御飯に強化米等を加え、栄養バランスの維持に注意を払った。

年2回の給与栄養目標量の算定と、4月および10月の身体測定をもとに身体発育調査を実施した。肥満や痩せの判定を行いながら栄養量の適正性を確認し、必要に応じて園児と保護者に食生活の指導を行った。

また、食材展示や栄養指導（もぐもぐ講座）、食育紙芝居の読み聞かせを行い、食材や栄養への関心を高め、食べる意欲の向上に努めた。さらに、季節の野菜や近海で採れた魚を用い、見たり触れたり臭いをかぐなど五感を通じて楽しむ展示を実施し、食の大切さを発信した。

保護者に対しては、毎日のサンプル食を展示し、アンケート調査を通じて好き嫌いや家庭での困り感を把握した。また、給食だよりの配信により、食事のマナーや噛むことの重要性、食中毒予防のポイントなど家庭で役立つ情報を分かりやすく発信した。加えて、エントランスに子どもに人気の給食レシピを写真付きで掲示し、家庭でも給食のメニューを再現しやすいよう工夫した。これにより、親子で給食への関心がさらに高まった。

さらに、毎月のおおさかこども園、きとうこども園との給食会議において、新メニューの検討や食品衛生に関する最新情報の確認を行った。

10) 主な職員研修

①施設外研修

月 日	研 修 名	人数	主催者
4月12日	特別支援コーディネーター研修会	1	掛川市こども希望課
4月19日	5歳児健診研修会(リモート)	1	静岡県健康福祉部こども未来局
4月20日	掛川小笠保育士会総会、講演会	10	掛川小笠保育士会
5月14日	掛川小笠保育士会給食研修会	2	掛川小笠保育士会
5月15日	県保連総合会西部支部研修会	1	静岡県保育連合会
5月18日	未来学会総会記念講演	11	かけがわ乳幼児教育未来学会
5月20日	要保護児童対応研修会	1	掛川市
5月23日	園経営研究部会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
5月28日	県保育士会総会	1	静岡県保育士会
5月30日	未来学会キャリアアップ研修(乳児教育)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月6日	未来学会キャリアアップ研修(乳児教育)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月6日	第1回掛川市幼児教育と小学校接続研修会	2	掛川市こども希望課
6月13日	小笠地区乳幼児保健会総会、講演会	1	小笠地区乳幼児保健会
6月14日	保育士保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
6月18日	未来学会園経営研公開保育(あんり)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月18日	中堅職員研修会	1	静岡県保育連合会西部支部
6月19日	未来学会遊び研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月21日	未来学会発達支援研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月25日	未来学会健康安全研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月26日	大浜学園全体研修会	7	大浜学園

6月29日	小笠地区乳幼児保健会講演会	1	小笠地区乳幼児保健会
7月9日	未来学会キャリアアップ研修(乳児教育)	1	掛川市こども希望課
7月10日	未来学会教育研究部研公開保育(きとう)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月11日	リーダーセミナー(保育の質の向上)	1	静岡県保育連合会西部支部
7月12日	未来学会キャリアアップ研修(マネジメント)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月17日	未来学会園経営研究部研修	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月19日	未来学会健康安全部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月25日	未来学会発達支援研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月27日	療育講演会	4	掛川小笠保育士会 東遠学園組合 西部健康福祉センター
7月28日	キャリアアップ研修(食育)	1	磐田市
7月29日	コーディネーター研修会	1	掛川市こども希望課
7月30日	大坂小夏季研修「特別支援教育」	3	掛川市立大坂小学校
8月1日	普通救命講習Ⅲ	5	掛川市消防本部
8月4日	キャリアアップ研修(食育)	1	磐田市
8月5日	未来学会キャリアアップ研修(マネジメント)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月6日	未来学会教育研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月8日	普通救命講習Ⅲ	4	掛川市消防本部
8月18日	キャリアアップ研修(食育)	1	磐田市
8月21日	食育について	1	掛川市こども希望課
8月23日	未来学会遊び研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月26日	未来学会キャリアアップ研修(マネジメント)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月27日	未来学会発達支援研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月27日	未来学会キャリアアップ研修(マネジメント)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月28日	未来学会園経営研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月4日～ 9月6日	キャリアアップ(障害児保育)	1	静岡県保育士会
9月9日	未来学会教育研究部研修公開保育(すびか)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月13日	令和6年度初任職員研修会	1	静岡県保育連合会西部支部
9月20日	未来学会健康安全部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月21日	掛川小笠保育士会研究発表	4	掛川小笠保育士会
9月30日	すこやかまなざし訪問	1	掛川市こども希望課
10月7日	静岡県保育士等キャリアアップ研修	1	静岡県保育士会
10月 10,11,15日	子どもと大人の温かい絆づくりセミナー (リモート)	11	静岡県人権啓発センター
10月23日 ～ 10月25日	静岡県保育士等キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	1	静岡県保育士会
10月25日	未来学会遊び研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会

10月25日	未来学会発達支援研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10月28日 ～ 10月29日	主任保育士・主幹保育教諭研修会	2	静岡県保育士会
11月7日	静岡県保育士等キャリアアップ研修(乳児保育)	1	静岡県保育士会
11月12日	かけがわ未来学会遊び研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月18日	かけがわ教育の日	2	掛川市教育委員会
11月22日	未来学会健康安全部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月28日	令和6年度福祉サービス苦情解決研修会	1	静岡県社会福祉協議会
1月23日	第2回掛川市幼児教育と小学校接続研修会	1	掛川市教育委員会 こども希望課
2月1日	掛川小笠保育士会保育のつどい	9	掛川小笠保育士会
2月6日	保育士・保育教諭研修会(食育)	1	静岡県保育士会

大浜学園

- ・園長校長研究部会、園務教務研究部会、生徒指導研究部会に年4回ずつ出席
- ・全体研修会に7名参加
- ・園小連絡会を年2回実施
- ・異校種交流に正規職員全員参加(千浜小)

②施設内研修

☆子育て支援部研修

- ・歳児別部会を1回ずつ実施(公開保育は2歳以上)
- ・リーダー部会を年2回実施
- ・新人部会

☆法人会議

- ・施設長会議、園長会、副園長会、給食会議を毎月1回実施。主幹会議を年5回実施

☆園内会議・研修

- ・園内研修 月1回実施
- ・職員会議 月1回実施
- ・乳児、幼児会議 月1回実施
- ・支援を要する園児のケース会議を実施
- ・掛川市こども希望部園訪問7月
- ・千浜小接続研修会

11) 実習生・ボランティア受け入れ

種 別	期 間	延べ人数	学校・団体等(実人数)
インターンシップ	2月3日～2月7日	5	横須賀高校(1)
ボランティア	7月29日～8月9日	8	大浜中学校 (6)
ふれあい体験	7月31日～8月2日	3	掛川市西高校(1)
保育実習	5月27日～6月14日	15	浜松学院短期大学部 (1)
	9月2日～9月18日	12	浜松学院短期大学部 (1)
	10月15日～10月28日	10	浜松未来総合専門学校 (1)
	2月12日～3月5日	12	浜松学院大学(1)
職場体験	10月1日～10月3日	9	大浜中学校 (3)
	計	74	

12) 地域交流・ボランティア

種 別	期 間	延べ人数	団体等
絵本読み聞かせボランティア	6月～3月	27	わたぼうし
畑の先生	5月～2月	8	千浜地区(太田さん)

しめ縄飾り作り指導	12月18日	8	千浜・大坂地区の皆様
陶芸教室	1月27日 2月17日	2	千浜地区(太田さん)
	計	45	

3 子育て支援センター事業

地域の子どもが親子で遊べる場、子育て中の親同士が交流できる場として、ゆったりと子どもと関わるができる温かな雰囲気を大切にしてきた。季節感や子どもの成長を感じることができる製作や手作り玩具を作る講座は、多くの親子が楽しみに利用した。

出前保育では、地域のお散歩コースと一緒に歩く機会を設け、「地域の新たな発見があり、普段のお散歩コースを知ることができてよかった」という声が聞かれた。

また、子育ての不安について相談があった際には丁寧に対応し、栄養士による離乳食の個別相談等を実施した。これらの取り組みにより、地域の子育て支援につなげることができた。今後も、地域の方々に親しまれる活動や支援を継続し、さらに充実させていく。

1) 活動内容

・センター開放日	毎週	火～木曜日	9時00分～15時00分
・支援活動	毎週	火～木曜日	10時00分～10時30分
・園庭開放	毎週	火～木曜日	10時30分～15時00分
・絵本読み聞かせ	毎週	水曜日	10時30分～
・身体測定	毎月	2回	
・電話・来園相談	毎週	火～木曜日	9時00分～15時00分

月	内 容	月	内 容
4	ふれあい遊び こいのぼりづくり 手作りおもちゃ作り	10	手作りおもちゃ作り 小麦粉粘土遊び 園外散歩 ハロウィン飾り作り 読み聞かせ（大東図書館）
5	母の日のプレゼント作り 指スタンプ 手作りおもちゃ作り 園外散歩 おでかけのび	11	3支援センター合同出前保育 パズル作り 足形製作 読み聞かせ（大東図書館）
6	父の日のプレゼント作り 新聞紙遊び じゃがいも掘り シャボン玉遊び	12	クリスマス帽子作り 親子体操教室 ツリー飾り作り 3支援センター合同クリスマス会
7	七夕飾り作り 水遊び 手形製作 3支援センター合同夏祭り	1	絵馬作り お正月遊び 手形足形製作 読み聞かせ（大東図書館）
8	水遊び 食育講座 読み聞かせ（大東図書館）	2	鬼退治をしよう 手形足形製作 サーキット お雛様製作
9	敬老の日のプレゼント作り お散歩バッグ作り 手作りおもちゃ作り 読み聞かせ（大東図書館）	3	足形製作 園外散歩 小麦粉粘土

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

月	利用者数（人）		相談件数 （件）	月	利用者数（人）		相談件数 （件）
	大人	子ども			大人	子ども	
4	10	11	2	10	20	21	2
5	16	17	3	11	21	28	2
6	22	24	3	12	24	27	1
7	16	18	1	1	16	21	2
8	18	20	2	2	28	32	3
9	16	18	2	3	36	35	2
合計（年間）					243	272	25

4 一時預かり幼稚園型事業

1 号認定児の保護者からの申請により、教育課程終了時以降、預かり保育を行った。

月	利用延べ人数	月	利用延べ人数	月	利用延べ人数
4	16	8	48	12	79
5	82	9	88	1	89
6	77	10	108	2	112
7	70	11	108	3	91
合計（年間）					968

令和6年度 大東苑及び障害福祉拠点区分 事業報告

1. 令和6年度の総括について

「共に笑顔と生きがいを与えられるケアをめざし、喜びや幸せを見いだす」という事業方針のもと、利用者の幸福を最優先に考えた介護サービスを提供した。職員が利用者の幸せに寄与することで、自身も喜びや幸せを感じられる組織づくりを推進し、地域における欠かせない介護事業所として、ケアの質の継続的な検証と向上に取り組んだ。

重点目標として、以下の3項目を掲げ、施設運営の強化を図った。

- 1, 人材を育てる 職員の専門性向上を目的とした研修・教育プログラムの充実。
- 2, チーム意識の強化 組織内の円滑なコミュニケーションと協力体制の構築。
- 3, 感染対応力の向上 最新の感染症対策の導入と実践力の強化。

これらの取り組みを継続しながら、より質の高い介護サービスの提供を目指した。

① 取り組み内容

ア：第三者評価機構の活用

客観的な評価を受けることで、改善点を共有し、職員の仕事に対する意識向上とチームワーク強化に取り組んだ。利用者の生活の質向上を目指し、個別ケア研究テーマを設け、各事業所で課題を設定した。さらに、その成果を他の事業所へ発表する機会を設け、地域の介護環境の向上につなげた。

イ：ケアマネジャーとの連携強化

連携会議を定期的に開催し、ケアマネジャーとの相互理解を深め、良好な関係を構築した。これにより、適切なケアを提供できる体制の強化を図った。

ウ：業務の効率化

眠りスキャンの活用が定着し、業務負担の軽減に貢献した。また、「生産性向上委員会」の取り組みを通じて業務の効率化を推進した。

エ：感染管理の強化

中東遠総合医療センター主催の「感染リンクスタッフ育成事業」に参加し、施設内の感染管理能力向上に努めた。基本的な感染予防策を徹底し、安全性の強化を図った。

オ：年次有給休暇の取得率向上

職員の働きやすさを向上させるため、年休取得の促進を図り、取得率は66%と昨年より改善した。しかし、部署間での差が依然として存在するため、取得率の低い部署への支援体制を整え、さらなる職場環境の改善に努める。

② 経費削減

ア：熱源機を空冷式ヒートポンプチャラーに更新したことにより、大幅な光熱費の削減を実現した。

イ：リース契約を見直し、コスト増を考慮した上で判断した。

③ 利用目標と結果

事業所	目標（月間）	結果	事業所	目標（月間）	結果
大東苑	利用率 98%	94.8%	大東ショート ステイサービス	平均利用者数 11人	10.4人
大東デイ サービスセンター	平均利用者数 43人	38.5人	大東デイサービス センターなかよし	平均利用者数 8人	4.1人
大東ヘルパー ステーション	平均利用時間 455時間	378.3時間	大東居宅介護 支援事業所	平均作成件数 285件	263件

④ 効果及び評価

利用者の幸福を最優先に考え、職員の意識向上と業務効率化を推進した。第三者評価により改善点が指摘され、さらなるケアの質向上を目指す。特に、人材育成・チームワーク強化・感染対応力向上の3つの重点目標が施設運営の強化に大きく貢献した。また、ケアマネジャーとの連携強化や感染対策の向上により、安心できる環境づくりを進めた。

一方、施設設備の老朽化が進み、修繕・更新の必要性が高まっている。収入の確保と支出の適正化に向け、より精密な判断と対応が求められる。

各部署の取り組み

(大東苑)

今年度は、利用者の尊厳を守り、その人らしさを大切にしたケアの実践を目標に掲げ、個別ケア

を重視したチームケアの推進、利用者本位の声掛け、不適切ケアの排除に取り組んだ。

個別ケアを重視したチームケアの取り組みにおいては、ブロック会議の中で職員が積極的に意見を出し合い、利用者の変化に応じたケアの調整や提案・情報共有を行った。これにより、利用者への理解を深めながらケアを提供する体制が定着し、職員間の情報共有が円滑化され、ケアの統一が図られることでチームケアの向上につながった。

また、利用者本位の声掛けや不適切ケアの排除については、自己申告書の目標に組み込み、職員一人ひとりが意識を持ち、明確な目標をもってケアに取り組んだ。しかし、声掛けや不適切ケアの排除については、さらなる改善が必要であるため、接遇の向上を含め、来年度の課題として重点的に取り組んでいく。

(大東ショートステイサービス)

今年度は、定期利用者の入所・入院に伴いキャンセルが増加したが、新規利用も徐々に増加した。職員体制が十分に整わず、問い合わせ対応が困難な場面もあったが、他部署の応援を受けながら対応した。また、感染拡大の影響を受け、7月19日(金)～28日(日)の期間は受け入れを縮小して運営した。

サービスの質向上に努め、利用者様の笑顔と意欲を引き出すケアを実践した。特に行事活動に注力し、利用者様と職員がともに楽しめる環境づくりを目指した。さらに、職員のスキルアップを目的として、レクリエーション研修や施設見学を実施した。

今後も、宿泊支援に加え、行事・体操・機能訓練を取り入れた支援を推進し、安定した職員体制を整えていく。また、利用者様が快適に過ごせる環境を提供し、より良いサービスの実現に向け、質の向上と職員のスキルアップに継続して取り組んでいく。

(大東デイサービスセンター)

職員は、「笑顔で接し、一緒に楽しい1日を過ごす」ことを基本方針とし、日々の会話や関わりを通じて信頼関係の構築に努めた。その結果、「ここに来るのが楽しみ」「また来られて嬉しい」といった声が聞かれ、施設への親しみが深まった。

レクリエーションでは、季節行事や体操、クイズなどを通じて、利用者が自発的に楽しめる活動を提供した。機能訓練では、自宅生活での動作維持を目指し、スタッフとの連携を強化しながら、利用者の身体状況に応じた訓練プログラムを実施した。その結果、「立ち上がりやすくなった」「歩行が安定した」といった改善の声が聞かれた。

今後も、職員のスキルアップを図りながら、より質の高いケアの提供を目指し、利用者一人ひとりのニーズに寄り添った支援を強化していく。

(大東デイサービスセンターなかよし)

認知症の症状を理解し、利用者がその人らしい生活を送れるよう支援した。日常生活の行動を見守り、言葉にできない思いにも心を配りながら、利用者一人ひとりが不安なく穏やかに過ごせるよう努めた。

フロアでの時間に加え、苑内の散歩やサイクルレーナーの活用など、筋力低下予防を目的とした活動を取り入れながら、1日のサービス内容を検討した。活動の計画では、利用者が興味を持ち、積極的に参加できる内容であることを重視し、レクリエーションやおやつ作りを企画した。新規利用者や登録者の減少が続く状況において、利用回数の追加を検討したものの、登録者減少の影響は大きく、利用率の低下が続いた。そのため、3月末をもって「なかよし」を休止することとなった。

今後は、利用者のニーズに沿った新たな支援のあり方を模索し、より効果的なサービス提供を目指していく。

(掛川市南部大東地域包括支援センター)

毎朝、包括内で対応ケースの確認を行い、月1回の振り返りの日を設けて情報を共有した。

包括内の3職種と協働し、また「ふくしあ」内において、2か月に1回(年4回)の連携会議を開催し、多様な困難ケースへの対応を図るとともに、関係機関との連携を強化した。

長期化している困難ケースについては、包括内で再検討を行い、法人および「ふくしあ」内で共有される困難ケースに関しては、関係機関と「地域ケア会議」を個別29回、地域9回開催し、課題解決に向けた取り組みを進めた。

さらに、必要となる最新情報の提供や研修の企画・開催を行い、個人および各事業所のスキルアップにつながる施策を推進した。

(大東ヘルパーステーション及び障害福祉サービス)

在宅で利用者が安心して生活できるよう、日々の気づきを大切に、些細な変化もチーム内や

他事業所と情報共有しながら、速やかな対応を図った。また、毎月のヘルパー会議ではミニ研修を実施し、職員の知識や技術のスキルアップに努めることで、訪問時の冷静な判断や柔軟な対応が可能となった。

さらに、困難事例への対応については、チーム全体で話し合う場を定期的に設け、支援内容や方法、手順を再評価しながら見直すことで、サービスの統一を図り、質の向上とチーム力の強化につなげた。

しかし、入院や入所の影響により利用率が安定せず、後半は利用率の低下がみられた。そのため、訪問件数が減少した際には、デイサービスの応援や事務業務に取り組むなど、状況に応じた対応を行い、効率的な運営を図った。

(大東居宅介護支援事業所)

生活困窮や家族の介護力の低下など、支援が困難なケースが増加する中、受け入れ体制を整え、大東居宅が協力しながら、全員で支援に取り組んだ。

また、多種多様なケースを担当することで、幅広い知識の習得が求められるため、職員は自主的に必要な研修を受講し、自己研鑽にもつなげることができた。こうした学びの積み重ねにより、より適切な対応が可能となった。

さらに、居宅内での情報共有を徹底することで、担当ケアマネが不在時でも円滑に対応できる体制を構築した。それにより、大東居宅全体で利用者を支えているという意識を職員間で共有し、連携の強化につながった。

2. 利用動向について

(1) 特別養護老人ホーム大東苑入所者延べ数月別報告 (定員 50 名)

月	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	30	90	495	473	308	1396	93.0
5	62	93	466	496	338	1455	93.9
6	60	90	393	481	354	1378	91.9
7	62	93	425	538	372	1490	96.1
8	62	93	465	558	372	1550	100
9	30	30	439	582	366	1447	96.4
10	31	31	496	558	399	1515	100
11	30	30	480	531	360	1431	95.4
12	31	31	539	488	363	1452	93.7
1	31	31	553	515	341	1471	98
2	28	0	516	436	316	1296	92.6
3	31	0	558	435	429	1453	93.7
合計	488	612	5825	6091	4318	17334	95.4

地区別入所者及び待機者状況 (令和 7 年 3 月 31 日時点)

地区	入所者	待機者	地区	入所者	待機者
掛川市	46	90	御前崎市	0	0
菊川市	2	9	県外	0	1
磐田市	0	0	計	48	101
牧之原市	0	1			

年間入退所状況

月	入所者数	退所者数	月末在苑数	月	入所者数	退所者数	月末在苑数
4	3	2	47	10	2	3	47
5	2	2	47	11	1	1	47
6	2	3	46	12	3	3	47
7	4	0	50	1	1	2	46
8	0	1	50	2	2	1	47
9	1	2	48	3	2	2	47

(2) 大東ショートステイサービス利用者延べ数月別報告 (定員 14 名)

月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均利用 人数
4	5	2	72	90	85	51	0	308	10.2
5	7	2	81	76	97	45	2	314	10.1
6	5	2	68	88	104	43	6	316	10.5
7	3	8	48	96	91	20	1	270	8.7
8	5	10	57	85	101	31	4	297	9.5
9	5	8	90	86	118	30	14	351	11.7
10	5	8	61	87	107	27	14	309	9.9
11	5	8	57	100	103	52	13	338	11.2
12	5	10	48	102	82	61	16	324	10.7
1	5	8	57	94	68	60	29	321	10.3
2	5	6	58	89	74	57	21	310	11.1
3	9	6	44	111	96	55	21	342	11
合計	64	78	741	1,104	1,126	532	141	3,800	10.4

(3) 大東デイサービスセンター利用者延べ数月別報告 (定員 55 名)

月	事業 対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	0	24	63	380	310	107	67	0	951	66.5
5	0	21	51	384	295	106	74	0	931	62.7
6	0	26	49	354	285	121	69	17	921	67.0
7	0	34	44	402	314	155	77	18	1,044	77.3
8	0	17	58	420	293	165	79	16	1,048	70.6
9	0	15	50	398	270	167	80	15	995	72.3
10	0	17	64	412	336	165	82	18	1,094	73.7
11	0	17	49	406	330	130	73	18	1,023	71.5
12	0	13	38	391	304	157	84	9	996	72.4
1	0	16	38	340	288	155	62	16	915	69.3
2	0	20	32	365	285	177	47	16	937	71.0
3	0	12	42	409	329	176	51	17	1,036	72.4
合計	0	232	578	4,661	3,639	1,781	840	160	11,891	70.0

(4) デイサービスなかよし利用者延べ数月別報告 (定員 12 名)

月	要支援1	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	利用率
4	0	0	0	0	80	13	0	93	35.0
5	0	0	0	0	71	12	0	83	33.0
6	0	0	4	0	78	10	0	92	36.5
7	0	0	9	0	69	11	0	89	33.7
8	0	0	9	0	79	3	0	91	33.0
9	0	0	9	0	86	0	10	105	41.6
10	0	0	2	0	74	0	12	88	34.9
11	0	0	9	0	68	0	11	88	33.3
12	0	0	9	0	61	0	10	80	31.7
1	0	0	8	0	58	0	10	76	31.6
2	0	0	8	0	61	0	10	79	32.9
3	0	0	9	0	63	0	10	82	31.1
合計	0	0	66	0	848	49	73	1,046	34.1

(5) 大東ヘルパーステーション利用者延べ数月別報告（介護保険ヘルパー）

月	事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4	0	5	13	59	100	99	46	17	339
5	0	4	14	60	95	108	26	31	338
6	0	10	66	56	107	95	46	30	410
7	0	4	25	80	116	104	44	18	391
8	0	0	28	73	112	102	69	20	404
9	0	0	32	75	103	95	68	17	390
10	0	0	26	93	109	101	71	21	421
11	0	0	26	75	90	113	69	18	391
12	0	0	48	71	89	116	23	18	365
1	0	0	27	53	87	95	0	16	278
2	0	0	23	92	75	96	0	17	303
3	0	0	47	106	84	118	9	17	381
合計	0	23	375	893	1167	1242	471	240	4411

(6) 障害福祉サービス事業利用者延べ数月別報告（障害者ヘルパー）

月	精神障害者	身体障害者	計
4	26	117	143
5	24	123	147
6	24	126	150
7	28	128	156
8	24	132	156
9	26	118	144
10	24	132	156
11	16	122	138
12	12	117	129
1	9	99	108
2	28	60	88
3	27	57	84
合計	268	1331	1599

(7) 大東居宅介護支援事業所プラン作成実件数月別報告

月	予防	要介護 1～2	要介護 3～5	予防 (0.5)	要介護計	総計	一人当たりの件数
4	42	148	71	21	219	240	30
5	39	152	73	19.5	225	244.5	30.6
6	39	152	77	19.5	229	248.5	31.1
7	38	152	74	19	226	245	30.6
8	43	152	76	21.5	228	249.5	31.2
9	45	152	75	22.5	227	249.5	31.2
10	45	147	76	22.5	223	245.5	30.7
11	45	150	75	22.5	225	247.5	30.9
12	46	151	78	23	229	252	31.5
1	43	153	72	21.5	225	246.5	30.8
2	43	150	70	21.5	220	241.5	30.2
3	44	146	67	22	213	235	29.4
合計	512	1805	884	256	2689	2945	368.2

(8) 南部大東地域包括支援センタープラン作成実件数月別報告

月	包括直営		他事業所委託		計
	予防	総合事業	予防	総合事業	
4	7	16	59	23	105
5	6	15	57	22	100
6	6	16	55	26	103
7	5	17	55	26	103
8	4	15	57	27	103
9	4	18	58	29	109
10	4	18	63	27	112
11	4	17	63	28	112
12	5	17	63	29	114
1	4	19	62	25	110
2	6	16	60	25	107
3	6	16	64	23	109
合計	61	199	716	310	1286

3. 職員体制について

令和7年3月31日時点 人員体制

	特養	ショート	デイ (一般型)	デイ (認知症型)	包括	ヘルパー	居宅	合計	内産休 休職
総計	36	11	29	5	4	8	9	102	4
常勤	13	4	7	1	3	2	7	37	2
8時間非常勤 (再雇用者含)	6	2	4	2	0	3	2	19	0
短時間等	17	5	18	2	1	3	0	46	2

4. 活動・行事について

感染対策を徹底しながら、面会・外出・行事・ボランティア活動を実施した。今後も予防を意識しつつ、生活に彩りを加える活動を積極的に展開していく。

(大東苑)

今年度は、「目」「耳」「身体」「味」を楽しむという4つのコンセプトのもと、行事を実施した。

「目」と「身体」で楽しむ活動として、「なぶら市場」や「イチョウ並木」へのドライブを企画し、「耳」で楽しむ取り組みでは、慰問のギター演奏を招待して実施した。「味」の楽しみとしては、「お刺身」や「焼き芋」を提供し、利用者に喜んでいただいた。

また、個別対応として、居室担当職員が担当利用者へ誕生日のメッセージ付き色紙を渡し、関わりを深めた。しかし、利用者一人ひとりの楽しみや思いの把握が十分ではなく、実施に課題が残った。そのため、個別の楽しみや希望に沿った行事や関わりについては、来年度の課題として検討していく。

(大東ショートステイサービス)

今年度は、笑顔と意欲を引き出すケアに重点を置き、行事活動に力を入れて取り組んだ。

回転寿司の企画では、利用者様の「お寿司を食べたい」という希望を受け、研修で学んだ「そよかぜ」さんの回転レーンを「かっぱ寿司」より借用し、実施した。「何年ぶりかでお寿司を食べた」と喜ぶ方が多く、その話を聞いた利用者様から「私も泊まりたい」との声が上がり、新規利用につながる場面もあった。

研修の一環として「第一興商」さんの出張レクリエーションを実施し、職員がレクリエーション技法を学ぶ機会を得た。また、しめ縄づくりでは、利用者様に教わりながら作業を進め、生き生きとした表情を多く見ることができた。完成した手作りの正月飾りを施設に飾り、達成感を共有した。

今後も利用者様の意見を取り入れながら行事活動を計画し、充実した時間を提供できるよう取り組んでいく。

(大東デイサービスセンター)

季節を感じられるレクリエーションの実施に努めた。毎月の誕生会では、利用者一人ひとりにお祝いのメッセージと写真をカードにして贈り、喜んでいただけるよう工夫した。

敬老会では、職員による出し物が好評を得て、利用者楽しんでいただいた。プランターでの野菜栽培にも取り組み、成長や収穫の過程を楽しんでもらうことができた。

しかし、個別活動の実施が難しく、一人ひとりが興味を持ち、意欲的に参加できる活動の検討が必要となった。今後は、より個別のニーズに対応したレクリエーションの充実を図っていく。
(大東デイサービスセンターなかよし)

同じレクリエーションでもデザインを工夫し、季節感を取り入れた趣向となるよう努めた。毎月のおやつ作りでは、季節に合わせたメニューを計画し、利用者と職員と一緒に調理しながら、皆で味わう時間を楽しんだ。利用者からも好評を得ることができた。

また、毎月の誕生会では、写真とメッセージをカードにして贈り、個別の関わりを深めた。

(1) 主な行事内容

月	大東苑	大東ショート ステイサービス	大東デイサービス センター (毎月：習字、体力測定、 誕生会)	大東デイサービス センターなかよし (毎月：おやつ作り、誕生 会)
4月		お花見(掛川城・大東北運動場) 桜餅づくり	お花見	
5月	新茶祭り	新茶をふるまう会 カラオケ(第一興商) フラワーアレンジメント(折り紙) 抹茶どら焼きづくり	つつじ見学、夏花植え付け	
6月	ROKUさんの慰問	さつま芋のおやきづくり ハンドケア・マッサージ あじさいゼリーづくり 手品の慰問に参加	じゃが芋収穫、さつま芋植 え付け	
7月		七夕飾りづくり 七夕会	七夕会	
8月	納涼祭	夏祭り(2回)	夏祭り	夏祭り
9月	敬老会	敬老会 回転レーンを使っておやつパイ キング	敬老会	敬老会
10月	秋の遠足(なぶら市 場)	屋台の見学 運動会	運動会	
11月	秋のドライブ	カラオケ大会 回転寿司(回転レーンを借りて)	さつま芋収穫	
12月	忘年会	出張レクリエーション しめ縄づくり クリスマス会	クリスマス会、忘年会	クリスマス会、忘年会
1月	新年会	ミルク餅づくり	新年会	新年会
2月		まめまき会 あんみつづくり	節分会	節分会
3月	おたのしみ会	ひな祭り会 お花見(苑のまわり) ぼた餅づくり	ひな祭り会、じゃが芋植 え付け	

5. 防災計画・安全管理等について

今年度は、災害発生時に「誰でも、いつでも、どこでも適切な対応ができる」ことを目指し、防災活動を実施した。

火災・地震・土砂災害時の避難誘導方法や点呼方法について、重点的に繰り返し訓練を行い、職員への定着と周知を図った。今後も、災害に強い施設を目指し、防災教育と職員への周知を目的とした訓練を継続して実施する。

また、業務継続計画(BCP)の職員への周知が十分ではなかったため、来年度の課題として、適切な訓練や研修の方法を検討し、より実効性のある対応を進めていく。

(1) 主な防災訓練等

月	災害状況想定	訓練項目	訓練目的
4月	火災(日中)	避難誘導訓練	火災発生時の基本的な避難誘導、及び職員連携と点呼方法について確認する。
5月	火災(日中)	避難誘導訓練	火災発生時の基本的な避難誘導、及び職員連携と点呼方法について確認する。
		通報訓練【1回目】	消防署への通報方法を学ぶ。
6月	火災(日中)	避難誘導訓練 【デイ合同】 【スロープ活用雨天中止】	基本的な避難訓練を全事業所職員の連携により実施する。協力職員との連携について効率的な方法を確認する。
7月	火災(夜間)	避難誘導訓練	夜間における人員体制での基本的な避難誘導、及び職員連携について確認する。
		放水訓練【1回目】	消火栓・消火器のある場所、使用方法を知る。【1階】
8月	大雨・土砂(日中) デイ合同	避難誘導訓練	土砂災害について、適切な判断、対処につき確認する。
9月	防災教育	防災研修 BCP研修【中止】	防災機器説明、BCP周知
10月	大地震(日中)	業務継続訓練	災害後の業務継続訓練【備蓄、避難用品の確認】
11月	地震・火災(日中)	総合防災訓練	社会福祉施設総合防災訓練
		通報訓練【2回目】	消防署への通報訓練
		放水訓練【2回目】	消火栓・消火器のある場所、使用方法を知る。【2階】
12月	火災(日中)	避難誘導訓練	火災発生時の基本的な避難誘導、及び職員連携について確認する。
1月	火災(夜間)	避難誘導訓練 【夜間想定】	夜間における人員体制での基本的な避難誘導、及び職員連携について確認する。
2月	地震・火災(日中)	避難誘導訓練 【デイ合同】	基本的な避難訓練を全部署の職員の連携により実施する。居力職員との連携について効率的な方法を確認する。
		情報伝達訓練	災害後に応援の可否を職員に対して一斉メールで送信した。
3月	防災教育	防災研修	防災器具の取り扱いを学ぶ。

6. ボランティアの状況について

		実=実人数		延=累計延べ人数		団体()=団体数	
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	実	延	実	延	実	延	実
個人	0	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	(2)	(44)	(2)	(20)	(3)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	実	延	実	延	実	延	実
個人	0	0	0	0	0	0	0
団体	(2)	(28)	(1)	(4)	(1)	(18)	0

7. 健康管理について

定期健康診断、インフルエンザワクチン接種、コロナウイルスワクチン接種（入所者）を実施した。コロナウイルスが5類へ移行した後も、感染予防に努めた。

特養内で入所者の感染が発生したが、体系的なフォローは困難であった。ストレスチェックは継続的に実施しており、統計的に大きな変化はなく、組織的な問題はないことを確認した。

(1) 主な健康診断

	内 容	利用者	職 員
4月～5月	入所者定期健康診断	大東苑入所者	
6月～7月	職員定期健康診断、腰椎問診実施		全職員
9月	安全衛生チェック		全事業所
9月～10月	入所者定期健康診断	大東苑入所者	
11月	インフルエンザワクチン接種	大東苑入所者	希望者
12月	コロナウイルスワクチン接種	大東苑入所者	
1月	職員定期健康診断		夜勤従事職員
2月	ストレスチェック		全職員
定期、随時	嘱託医回診・歯科検診	大東苑入所者	

8. 定例会議等について

これまでの会議、委員会体制を継続した。委員会においては、研修やケアの質向上への取り組みについて協議され、施設運営上効果的な発信がされた。

(1) 主な会議と委員会体制

	共通	大東苑・ショート	デイサービス	ヘルパー	居宅	包括
主な 会議	(毎月) 経営調整会議 苦情処理委員会 QOL 委員会 衛生委員会 給食委員会 感染対策委員会 防災委員会 (随時) 交通安全委員会 地域交流委員会 (年4回) 掛川市介護保険 事業者連絡会議	(毎月) 特養会議 特養業務会議 身体拘束委員会 看取り委員会 事故対策委員会	(毎月) 大東デイミー ティング なかよしミー ティング	(毎月) ヘルパー会議	(毎週) 特定事業 所会議	責任者会議 運営協議会 相談協力員懇話会 3職種専門職会議 認知症施策会議 認知症連絡会 地域ケア会議 資質向上検討委員会 ふくしあ調整会議 ふくしあ連絡会議 ふくしあケース会議 つなぐ会実行委員会

委員会名	活動内容
QOL 委員会	各部署が設定した目標について、毎月取り組み状況を報告。半年経過した地点でアンケート方式による評価を行い、浮上した課題について再考した。年度末には取り組み内容についての事例発表会を開催した。
衛生委員会	職員の健康の維持、向上に向けた取り組みとして、健康診断、ストレスチェック等を実施した。また、快適な職場環境の実現に向け施設内の巡視を行い整理整頓を促した。
給食委員会	より豊かな食事の提供を目指し、委託業者と事業所職員とで毎月意見交換を行った。より楽しい行事となるような提案をするとともに、感染対応について確認する等相互連携を図った。
感染症対策委員会	大東苑の感染予防力を高め、衛生環境の継続的な維持を目指した。衛生研修会を行い、基本的な感染対策、感染予防に関する情報提供に取り組んだ。BCPに沿って各部署でシミュレーションを行い見直しを行った。
防災委員会	防災訓練の実施及び防災教育等の計画を行う。
交通安全委員会	年4回の交通安全運動へ参加し地域の交通安全活動に協力した。またアルコールチェックの取り組みが定着するよう、機器の入れ替え、記録用紙の整備等を行った。安全運動を目的とした研修は実施できていない。
地域交流委員会	クリーン作戦、フードパントリー、ふれあい広場等、社協の活動に参加協力をした。
身体拘束委員会	身体拘束等の基礎的内容を周知し、適正なケアを徹底する。身体拘束廃止の適正化に向けた研修を年2回実施した。
看取り委員会	(大東苑) 看取りケアにあたり、その人らしい暮らしを実現するためのケアを検討し、実践に繋げた。
事故対策委員会	(大東苑) 事故発生状況を検証し、事故防止に向けた今後必要な対応につき検討し、職員に周知し、利用者のケア向上に繋がる取り組みをすすめた。

9. 主な職員研修について

勤務体制が不安定な状況もあり、積極的な研修（OFF-JT）への参加は進められなかった。階層別研修の実施については当初より検討していたが、効果的な取り組みには至らなかった。今後は、介護技術の段階的修得と併せて、体系化を進めていく。

(1) 施設内研修実績

月	共通	大東苑・ショート	デイサービス	ヘルパー
4月			コミュニケーション力について	接遇・コミュニケーション力・プライバシー保護の取り組み
5月			認知症及び認知症ケアについて	接遇研修
6月	感染症発生時の初動対応、ガウンテクニック	身体拘束とは何か	感染症及び食中毒予防及びまん延防止に関する研修	介護従事者の求められる気づきについて
7月			事故発生の防止、事故対応、リスク管理について	感染対策について
8月	虐待防止（折れない心を育てる）		身体束縛、虐待防止について	虐待防止について
9月	基本的な感染対策	生産性向上委員会研修 【眠りスキャン・センサーマットについて】	入浴介助について	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について
10月	虐待予防研修	身体拘束と見守り機器 看取り（死を直前にしたケア）	緊急時の対応	QOL・アンケート調査
11月		高齢者虐待について 事故防止（事故を未然に防ぐには）	感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に関する研修	QOL・アンケート調査
12月		レクリエーション研修	非常災害時の対応について	アンガーマネジメントについて
1月		業務継続机上訓練 【BCP研修】	プライバシー保護について	汚物処理マニュアルについて
2月		認知症について 事故防止（リスクマネジメントの取り組み）	事故発生の予防、事故対応、リスク管理について	精神疾患の理解について
3月	新人研修	身体拘束をしないための 具体策 QOL発表動画視聴	身体拘束、虐待防止について	対人トラブルの心理学

(2) 外部研修実績

部署	職名	年月日	人数	主催者	研修内容
大東居宅介護支援事業所	介護支援専門員	R6/7/26	1	静岡県訪問看護ステーション協議会	訪問看護実習
	介護支援専門員	R6/7/27	1	静岡県訪問看護ステーション協議会	在宅医療研修
	介護支援専門員	R6/6/～	1	静岡県介護支援専門員協会	専門研修課程Ⅰ
	介護支援専門員	R6/9/2	1	長寿推進課 地域包括ケア推進会	地域リハビリテーション研修会
	介護支援専門員	R6/11/5、 11/14、11/21 11/28、12/10 12/19、 R7/1/10、 1/16、1/24 1/30、2/6	1	静岡県健康福祉部介護保険課	主任介護支援専門員研修
	介護支援専門員	R6/11/8	1	静岡県健康福祉部障害者支援局	精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ

	介護支援専門員	R6/12/12	1	小笠医師会	在宅医療研修
	介護支援専門員	R7/1/20	1	掛川市長寿推進課	地域リハビリテーション研修会
大東ヘルパーステーション	副主任	R6/7/25	1	安全運転管理協会	安全運転管理者 法定講習
	副主任	R6/11/21	1	豊仙苑訪問介護センター	中東遠地区職種別研究会
大東苑	栄養士	R6/5/30	1	給食協会総会	令和6年度給食協会掛川支部総会・衛生講習会
	相談員	R6/5/30	1	施設ケアマネジメント研修会	介護保険制度改正（施設版）
	主任看護師	R6/7/12	2	中東遠総合医療センター	高齢者入所施設における感染リンクスタッフ育成事業
	介護職員	R6/9/～	2	TAP アカデミー	実務者研修
	ケアマネ	R6/8/27	1	静岡県施設ケアマネジメント協議会	施設ケアマネジメント研修
	事務職員	R6/6/14	1	静岡県社会福祉協議会	令和6年度社会福祉法人簿記入門講座
	施設長	R6/9/5	1	静岡県老人福祉施設協議会	第13回静岡県高齢者福祉研究大会
	栄養士	R6/9/9	1	静岡県給食協会掛川支部	好生会 小笠病院 見学研修会
	施設長	R6/9/11	1	安全運転管理協会	安全運転管理者 法定講習
	ケアマネ	R6/9/19	1	静岡県介護支援専門員協会	施設見学ケアマネジメント研修
	栄養士	R6/10/25	1	静岡県給食協会掛川支部	給食協会栄養士研修会
	主任看護師	R6/11/15	2	中東遠総合医療センター	高齢者入所施設における感染リンクスタッフ育成事業
	相談員	R6/11/27	1	静岡県危険物安全連合会	危険物取扱者保安講習
	副主任	R7/2/6	1	灯光園	中東遠地区職種別研究会 中間管理職
	主任看護師	R7/3/4	2	中東遠総合医療センター	高齢者入所施設における感染リンクスタッフ育成事業
大東ショートステイサービス	介護職員	R6/6/25	3		磐田ケアセンターそよ風 施設見学
	介護職員	R6/6/28	1	福寿荘（磐田市福田健康福祉会館）	中東遠地区職種別研究会
大東デイサービスセンター	介護職員	R6/6/4	1	静岡県社会福祉協議会	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー
	介護職員	R6/9/5	2	静岡県老人福祉施設協議会	第13回静岡県高齢者福祉研究大会
	機能訓練指導員	R7/2/23	1	日本通所ケア研究会	介護スタッフ&機能訓練指導員がみにつけるべきリハ技術とコツセミナー
	副主任	R7/3/8	1	CSW 研究会	介護殺人の防止について考える
大東デイサービスセンターなかよし	介護職員	R7/1/10	1	静岡県社会福祉協議会	三好春樹の人間学に基づく認知症介護講座
	介護職員	R7/1/15	1	静岡県社会福祉協議会	認知症の人のためのレク作りのポイント講座
掛川市南部大東地域包括支援センター	社会福祉士	R6/7/12	1	小笠医師会	研修・親睦会
	主任介護支援専門員	R7/1/17	1	静岡県健康福祉部福祉長寿政策課	高齢者虐待対応力強化研修

10. 給食業務について

毎月給食会議を開催し、各部署間で情報共有や意見交換を行い、食事提供や献立内容の認識を統一した。特に「なかよし」のサービス休止に伴い、デイサービス一本化に向けた給食提供について話し合いを重ね、スムーズな運営を実現した。

また、キャンセル料の導入により、利用者・職員双方の意識が高まり、ショート・デイサービスの当日キャンセル数が減少した。その結果、残食や食材廃棄量が削減され、委託会社（シダックスフードサービス）と協力しながら SDGs への取り組みを進めた。

食材費の高騰に加え、米の値上がりもあり、1日の食材費内で栄養価目標を達成することが次第に困難になった。

行事食の実施状況

月	行事内容	月	行事内容
4 月	・開苑記念日・ウェルカムコンボフェア	10 月	・ご当地ラーメンフェア
5 月	・新茶祭り・エスニックフェア	11 月	・匠フェア
6 月	・スマイルショップ・健康面フェア	12 月	・クリスマスフェア
7 月	・土用の丑・コロッケ祭り	1 月	・お正月おせち・新年会・あったかフェア
8 月	・納涼祭・世界のカレーフェア	2 月	・節分・ご当地唐揚げフェア
9 月	・敬老会・料理コンテスト(甘麴生味噌)	3 月	・ひな祭り・お楽しみ会・東北応援フェア

11. 地域との交流について

地域の福祉交流会に講師として参加し、福祉懇談会では移送支援を実施した。また、介護事業者向けの研究発表会を開催した。

今後も地域包括支援センターと連携し、地域交流委員会の活動を軸に、地域活動を継続して積み重ねていく。

令和6年度 くにやす苑拠点区分事業報告書

1 令和6年度の総括について

令和6年度は、「その人らしい日常生活の実現と安心・安全・安定した施設運営」を目標に事業運営を行った。感染症対策を継続しつつ、コロナ禍前の日常を取り戻すため、茶屋での面会、希望時の個別外出、ボランティアの受け入れや祭典で地域交流を進めた。

コロナ感染症は5類感染症となったが、入所者の健康を脅かす存在であることに変わりはないため、感染者発生の都度、施設内での蔓延防止策を講じた。全国的に感染者が増加した1月には、1ユニットでみなし感染者を含め8名の感染が確認されたが、ユニット間の伝播を防ぎ、施設全体への拡大を抑えた。標準予防策の徹底が重要であることを改めて認識した。

個別ケア、ユニットケア推進の取り組みとして、ユニットごとのミニイベントやドライブを実施した。また、ユニット間交流イベント、週1回の体操を実施した。

在宅サービスの利用向上の取り組みとして、利用者ニーズに応じたサービス提供に努め、ケアマネ事業所への営業やSNSでの発信を強化し、デイサービスの月間利用率を72.7%から79.0%まで向上させることができた。また、短期集中C型通所サービス事業も継続し、地域の介護予防の取り組みに貢献することができた。

ショートステイでは営業活動の成果として80名の新規利用契約を結ぶことができた。人員配置の効率化に努めたが、早番・遅番・夜勤対応職員の不足により、年間利用率は目標の60%に達することができず、52.8%に留まった。

防災対策としては、避難訓練に加え、内水氾濫対策用水中ポンプの設置訓練等の浸水対策訓練を実施した。津波避難対策として避難訓練を実施し、市と移転協議を継続した。今年度は施設移転に伴う課題が明らかになったことから、今後は課題点の整理・検討を進める。掛川市危機管理課の指導のもと、浸水害・原子力災害時の避難計画を策定した。

事故防止対策として、介護ロボット補助金を活用し、ベッドの入れ替えを実施した。ベッドセンサー、ナースコール、記録ソフトの連携により事故削減と業務効率化を図ることができた。

人材育成では、高卒採用者の介護福祉士実務者研修受講を支援し、介護技術力の向上につなげた。

特養の入所状況については、介護保険法改正により入所時の介護度及び年齢が高くなり、入所期間の短縮の傾向となっている。今年度の退所者は32名で、1月から3月には18名が退所され、15名の入所を受け入れ、例年にないペースで入所事務を進めたが、年間利用率は94.9%に留まり、目標の98%には届かなかった。

(特別養護老人ホームくにやす苑)

今年度は感染対策マニュアルに基づき、継続的に対策を講じた。静岡県病院協会による「社会福祉施設感染防止対策のための訪問アドバイス事業」の研修を受講し、職員の感染対策スキル向上を図るとともに、マニュアルの見直しを進め、最新の対応を心掛けた。

コロナ前の日常を取り戻すことも課題とし、10月から交流の場として週1回のラジオ体操を実施し、生活の質の向上や身体機能維持に努めた。また、オータムフェスタやユニットごとの季節行事や手作りおやつを提供などを通じ、入所者が楽しめる機会を設けた。インスタグラムや家族連絡票を活用し、生活の様子を家族へ発信する取り組みも継続した。今後も集合行事での交流を深めるなど生活に張りを持って過ごしていただくことで、心身の機能維持を図るよう努める。

地域交流として、ボランティアや慰問の積極的な受け入れが困難だったが、今後受け入れの体制を整え検討を進めていく。

設備面では開苑当初から使用している機械浴の老朽化に伴う不具合が発生しており、特殊浴槽の機種選定や導入準備を進めた。次年度予算にて更新を予定しており、入所者の生活に必要な設備導入や修繕について引き続き精査、検討していく。

(くにやすショートステイサービス)

今年度は利用率向上を目指し、利用者及び利用者家族、担当ケアマネージャーへの情報発信を強化した。新規利用者獲得のため、毎月空き情報や行事予定を発信し、年間80名の新規契約(再契約含む)を獲得した。日々の様子を写真付きの新聞で共有し、細やかな報告と相談しやすい関係づくりに努めた。

運営面では、特養から介護職員と看護師の応援体制を整え、柔軟な勤務シフトを導入し、効率的な人員配置に努めた。

ショートステイ玄関の飾り付けや壁面の模様替えを毎月行い、利用者が心地よく過ごせる空間づくりに努

めた。家族の体調不良等で家庭内の介護力が低下した利用者には、通常より長くサービスを提供するなど、施設入所へスムーズに移行できるよう支援した。ケアマネージャーや入所施設と連携することで、利用者の安全確保と家族の安心に貢献できたが、遅番・早番対応が可能な職員不足により緊急受け入れニーズに十分に対応できなかったことが今後の課題である。

環境面では、記録ソフトとセンサーベッド、ナースコールの連携が定着し、情報共有、業務効率化、事故の抑制につながった。

事故防止の取り組みを進めてきたが、離接事故が発生してしまった。幸いにも速やかに保護することができたが、認知症利用者の見守り強化が必要と考え、施設確認やこまめな人数確認を徹底する方針を職員間で共有した。

(くにやすデイサービスセンター)

「おひとりおひとりに居心地のよいデイサービス作りを目指す」「その人らしさを大切にし、生活の質が高まるよう支援する」「チームワークを大切にする」を目標に掲げ、介護に取り組んだ。

運営面では、AI 歩行分析アプリを活用し、自宅でも行える運動動画を紹介したことで、利用者や家族から好評を得た。また、「興味チェックシート」を活用し、利用者一人一人の興味がある活動を調査し、活動に反映させた。短期集中型C型通所サービス事業は実施日を増やし、2名が利用した。そのうち1名はデイサービスの継続利用へとつながり、利用者の獲得にも寄与した。設備面ではテレビを更新し、動画配信を体操やレクリエーションの際に活用した。半日利用の方や、近隣施設で受け入れが難しい機械浴対応者を積極的に受け入れ、利用者のニーズに柔軟に対応した。

2 利用動向について

1) 特別養護老人ホームくにやす苑入所者延べ人数月別報告 (定員 80 名)

月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	利用率
4	60	120	1030	530	420	2160	90.0%
5	62	124	1165	553	455	2359	95.1%
6	60	120	1148	511	464	2303	95.9%
7	62	124	1168	553	482	2389	97.5%
8	62	124	1090	613	524	2413	97.2%
9	60	120	1050	600	546	2376	99.0%
10	62	124	1072	661	522	2441	98.4%
11	60	113	1060	639	459	2331	97.1%
12	62	93	1044	725	514	2438	98.3%
1	62	72	961	739	470	2304	92.9%
2	56	56	809	644	435	2000	89.2%
3	62	62	842	783	484	2233	90.0%
合計	730	1252	12439	7551	5775	27747	95.0%

地区別入所者及び待機者状況 (令和7年3月31日時点)

市町等名	入所者数	待機者数
掛川市	61	53
菊川市	8	12
袋井市	0	1
御前崎市	3	9
牧之原市	0	2
浜松市	1	2
藤枝市	0	1
静岡市	0	1
県外	0	0
その他	0	0
計	73	81

年間入退所状況

月	入所者数	退所者数	月末在苑数	月	入所者数	退所者数	月末在苑数
4月	4	1	75	10月	1	2	79
5月	4	2	77	11月	1	2	78
6月	2	1	78	12月	3	2	79
7月	3	2	79	1月	2	9	72
8月	2	2	79	2月	5	6	71
9月	1	0	80	3月	5	3	73

2)くによすショートステイサービス 延べ利用者数 月別報告 (定員 20 名)

月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	0	0	77	119	104	21	10	331	55.1%
5	0	0	83	103	93	11	5	295	47.5%
6	0	0	87	121	54	8	13	283	47.1%
7	0	0	82	94	51	47	2	276	44.5%
8	0	5	58	113	100	48	0	324	52.2%
9	0	0	72	115	89	58	0	334	55.6%
10	0	0	72	97	89	66	3	327	52.7%
11	0	2	80	91	96	67	11	347	57.8%
12	0	2	68	71	108	72	0	320	51.6%
1	0	2	92	79	98	52	0	323	52.0%
2	0	2	105	93	72	66	0	338	60.3%
3	0	6	116	76	63	59	0	320	51.6%
合計	0	19	992	1172	1017	575	44	3818	52.3%

3)くによすデイサービスセンター 延べ利用者数 月別報告 (定員 30 名)

月	事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	7	8	11	107	275	93	42	25	568	72.6%
5	8	5	9	135	268	109	38	25	597	73.6%
6	7	3	4	144	198	98	42	28	524	72.6%
7	8	4	9	143	187	111	63	20	545	67.3%
8	9	5	9	156	184	123	58	18	562	69.0%
9	9	4	10	127	166	124	48	20	508	67.6%
10	12	4	16	143	167	149	42	20	553	68.3%
11	12	5	23	171	165	136	51	18	581	74.3%
12	11	3	15	194	169	126	39	7	564	75.2%
1	9	8	11	171	159	113	40	6	517	71.8%
2	4	8	15	203	196	85	56	6	573	79.3%
3	5	8	16	223	194	101	60	10	617	79.0%
合計	101	65	148	1917	2328	1368	579	203	6709	72.5%

3 職員体制について

各ユニットについては、常勤介護職員と 8 時間非常勤介護職員あわせて 4 名の体制を基本とし、夜勤明けでの残業削減に努めた。

1) 職員配置状況 (令和 7 年 3 月 31 日時点)

	特養	ショート	デイ	合計	うち育休産休病欠
総計	63	13	17	94	4
常勤	36	6	3	45	4
常勤 6H	1	0	0	1	0
8 時間非常勤 (再雇用含)	7 (1)	3	4	14	0
短時間等	20	4	10 (2)	34	0

※0内は派遣社員 宿直員7名を含む

資格：介護福祉士 59 名、社会福祉士 2 名、介護支援専門員 5 名、看護師 10 名 管理栄養士 2 名 作業療法士 1 名

4 活動・行事について

今年度は施設内でおやつ作りなどの季節感のある行事を行った。また、感染症に配慮しつつ、他のユニットとの交流を持てるよう、『ほのぼの広場』を改名し、新たに『元気の会』を企画した。

部署、ユニットまたはフロア単位でも、余暇活動やお楽しみ会を行った。外出イベントも感染症対策として人出の多いところは控えたが、対応可能な範囲で入所者の希望を叶えられるようにした。

1) 主な行事内容

月	行事	内 容
4 月	お花見ドライブ	4/3～4/6 をお花見週間とし、各ユニット参加できる入居者様とお花見ドライブに出かけ、春を楽しんでいただいた。
5 月	柏餅づくり	柏の葉は入所者数名と収穫した。柏餅を手作りし、玄関ホールに集い、新茶とともに振舞った。
5 月	お刺身イベント	『お刺身が食べたい』という希望から、鮮魚店でお刺身やネギトロを注文し召し上がっていただいた。
6 月	梅ゼリー試食会	昨年、苑で採れた青梅で作った梅ジュースで、職員が梅ゼリーを作った。試食会と称して、入居者様に振る舞い、来年も食べたいかのアンケートを取った。
11 月	オータムフェスタ	イベント委員会を中心に準備を行い、感染対策として密にならないよう配慮して対応することができた。
12 月	クリスマス会	ユニットごとにクリスマスケーキを作り、クリスマス会を行った。
2 月	豆まき	玄関の外で職員が鬼の恰好をして登場し、入所者に「鬼は外、福は内」と掛け声をしながら豆を投げていただいた。
毎月	移動コンビニ	R5 年度より企画し、毎月第 2 木曜日にとすとす号の移動コンビニに来てもらい、入所者様に買い物を楽しんで頂いた。
随時	各ユニットイベント	各ユニットでおでん、餃子パーティー、お楽しみ会等考え、入居者様に楽しんでいただける時間を設けた。
随時	元気の会	開催時間を水曜日午後 2 時から、地域交流ホールに集まり、リハビリ体操・歌・ゲーム等を実施した。恒例の行事になり、職員も交替で参加できた。
随時	生け花	当日の朝、花を仕入れ利用者様に生けていただいた。

5 防災訓練について

毎月、防災訓練を実施した。11 月には中東遠地区特養施設連絡会の防災訓練に参加した。1 月に行う予定だった防災研修はコロナ感染症の蔓延を防ぐための対策を講じていたため 2 月に実施した。3 月には大東苑までの津波避難経路について実際に避難車両で走行しながら確認する津波避難訓練を実施した。

1) 防災訓練実施状況

月	訓練種別	目的・内容
5. 24	地震 津波避難訓練（デイサービス）	避難車両の活用訓練
5. 10	地震 津波避難訓練（花・森）	避難塔の活用訓練
5. 16	地震 津波避難訓練（海・そら・風）	避難塔の活用訓練
5. 24	地震 津波避難訓練（大地・月・太陽）	避難塔の活用訓練
5. 31	地震 津波避難訓練（ショートステイ）	避難車両の活用訓練
6. 7	浸水想定対応訓練（森・花）	水中ポンプ設置訓練
6. 14	浸水想定対応訓練（海・そら・風）	水中ポンプ設置訓練
6. 20	浸水想定対応訓練（大地・月・太陽）	水中ポンプ設置訓練
6. 28	浸水想定対応訓練（ショートステイ）	水中ポンプ設置訓練
各会議時	防災用品の点検 ユニット会議時実施 （特養8ユニット・ショート）	防災用品の点検・補充
7. 21	消火器訓練	水消火器を使用し放水訓練と消火栓の使用説明
7. 19	情報伝達訓練	ビジエネ連絡網一斉メール伝達訓練、アンケート
8. 2	風水害訓練（花・森）	風水害対応二階避難訓練
8. 9	風水害訓練（海・そら・風）	風水害対応二階避難訓練
8. 15	風水害訓練（大地・月・太陽）	風水害対応二階避難訓練
8. 23	風水害訓練（ショートステイ）	風水害対応二階避難訓練
9. 4	総合防災訓練（全部署）	テント設営等、総合防災訓練 水中ポンプ設置訓練 防災用品の準備・使用と点検 大東苑防災倉庫の点検
10. 11	地震津波避難訓練（花・森）	避難塔活用訓練
10. 10	地震津波避難訓練（海そら風）	避難等活用訓練
10. 27	夜間津波避難訓練（大地・月・太陽）	避難塔活用訓練
10. 24	地震津波避難訓練（ショートステイ）	避難塔活用訓練
11. 13	総合防災訓練	火災想定と避難誘導 ハマビ立ち合い
12. 27	火災想定（ショートステイ）	火災時の対応と避難誘導訓練
2. 7	夜間火災想定時対応訓練（森・花）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
2. 14	夜間火災想定時対応訓練（海・そら・風）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
2. 20	夜間火災想定時対応訓練（大地・月・太陽）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
2. 26	夜間火災想定時対応訓練（ショートステイ）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
3. 21	津波避難訓練（特養全フロア）	避難車両運転し避難先へ 大東苑防災倉庫点検

6 ボランティアの状況について

中学生の職場体験学習や福祉体験の受け入れ、草刈り、窓掃除などを国浜区自治会や日本赤十字奉仕団等の各ボランティアに来ていただくことができた。

月	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	1	1	1	2	0	0	0	2	0	2	1	3
団体	0(0)	0(0)	0 (0)	0 (0)	20 (3)	20 (3)	0 (0)	20 (3)	20(1)	40 (4)	8(2)	48 (6)
月	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	3	2	5	0	5	0	5	0	5	2	7
団体	15(1)	63 (7)	6(1)	69(8)	0(0)	69(8)	0(0)	69(8)	0 (0)	69(8)	0(0)	69(8)

実=実人数 延=延べ人数 団体（ ）=団体数 注）草刈り除く

7 健康管理について

入所者の定期的な健康診断・職員の健康診断等について、計画に基づいて実施することができた。職員健康診断は、要再検・要精密の指摘者について、再度病院に受診してもらい健康管理を呼び掛けた。嘱託医については、菅沼和人医師（内科）に入所者全員を担当して頂く体制を継続した。事故等による通院件数は前年度と比較して同程度だった。また、菅沼和人医師の指導の下、希望者に新型コロナウイルスワクチンの予防接種を7回目まで施設内で行うことができた。

1) 入所者の健康管理について

- ①胸部レントゲン 令和6年4月に実施(年1回)
- ②採血 令和6年4月・令和6年10月に実施(年2回)
- ③歯科検診 令和6年 1回5名程度 1年かけて実施
- ④インフルエンザ予防接種 令和6年11月3回に分けて実施(希望者)
- ⑤肺炎球菌ワクチン接種 令和6年9月実施(希望者)
- ⑥新型コロナウイルスワクチン接種 令和6年11月に実施(希望者)

2) 日常検診

- 体温測定 週3回測定及び体調により随時
- 血圧・脈拍測定 1週間に2回及び体調により随時
- 体重測定 月1回実施

3) 回診

嘱託医：菅沼和人医師：第1・3火曜と毎週木13：30からの回診
※ 訪問歯科診療・口腔ケア：1カ月に2回実施（牧野歯科医院大坂診療所）

4) 職員の健康管理

令和6年6月・7月健康診断（全職員対象）実施
令和6年11月、12月 インフルエンザ予防接種（希望職員）2回に分けて実施
令和6年1月 夜勤従事者対象健康診断 実施

5) 機能訓練について

重度化が進む中、本人と家族意向を踏まえ、状態に合わせた個別機能訓練計画書を作成し、機能訓練をした。

6) 口腔機能について

牧野歯科による口腔ケア指導については、介護職と連携し実施した。

8 定例会議について

定例会議等については、毎月第3金曜日を会議の日とし、会議時間の短縮のため、資料の事前配布を徹底した。

主な会議と委員会体制

会議名	開催時期	委員会名	開催時期
代表者会議	月1回 第3金曜日	苦情処理委員会	月1回 第3金曜日
デイサービス会議	月1回	防災委員会	月1回 第3金曜日
ショートステイ会議	月1回	衛生委員会	月1回 第3金曜日
給食会議	月1回 第3金曜日	身体拘束廃止委員会	3か月に月1回 第3金曜日
特養リーダー会議	月1回 第3金曜日	事故対策委員会	3か月に月1回 第3金曜日
ユニット会議	月1回（ユニット毎）	感染対策委員会	3か月に月1回 第3金曜日
給食会議	月1回 第3金曜日	イベント委員会	随時
医療的ケア対策会議	3か月に月1回 第3金曜日	地域活動・広報編集委員会	随時
サービス担当者・看取り会議	随時	生産性向上委員会	月1回第3金曜日
		交通安全委員会	年4回（春夏秋冬）

9 主な職員研修について

内部研修については日本福祉大学オンデマンド研修を契約し、動画研修を中心に実施した。外部研修についてもリモート研修が多く、職員の負担及び経費を削減することができた。

1) 外部研修実績

月 日	研 修 名	部署	職種	人数	主催者
令和6年4月16日	新人職員セミナー	特養	介護職員	1	静岡県倫理法人会
令和6年5月20日	令和6年度中東遠地区職種別研究会 (給食)	特養	管理栄養士	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和6年6月26日	フットケア講座	デイサービス	介護職員	1	静岡県社会福祉人材センター
令和6年7月5日	接遇マナー研修会	特養	介護職員	2	静岡県老人福祉施設協議会 研修委員会
令和6年7月24日	令和6年度中東遠地区職種別研究会 (医務)	特養	看護師	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和6年7月30日	令和6年度 安全運転管理者等講習	特養 ショート	(正・副) 安全運転 管理者	2	静岡県安全運転管理協会
令和6年8月7日	介護施設における安全対策担当者 養成研修 (Eラーニング)	特養	副主任	1	公益社団法人全国老人福祉施設協議会
令和6年8月8日	介護職員向け感染対策研修	特養	副施設長 主任	2	中東遠総合医療センター
令和6年8月27日	令和6年度中東遠地区職種別研究会 (事務職員)	特養	事務職員	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和6年9月5日～ 令和6年10月3日	介護福祉士 実務者研修	特養	介護職員	1	三幸カレッジ
令和6年9月17日	感染対策研修会②		多職種	6	社会福祉法人大東福祉会
令和6年9月19日	施設ケアマネジメント研修	特養	施設ケア マネ	1	静岡県介護支援専門員協会
令和6年9月24日	令和6年度中東遠地区職種別研究会 (介護)	特養	主任 副主任	2	中東遠地区特養施設長連絡会
令和6年9月28日	予算管理講座	特養	副施設長	1	静岡県社会福祉協議会 静岡県社会福祉法人経営者協議会
令和6年10月25日	令和6年度栄養士研修会	特養	管理栄養士	1	静岡県給食協会
令和6年10月25日	採用時虐待研修	特養	介護職員	1	社会福祉法人 大東福祉会
令和6年11月6日	令和6年度中東遠地区職種別研究会 (防災)	特養	防災管理 者	1	中東遠地区特養施設長連絡会
令和6年11月7日	静岡県感染訪問アドバイス研修	特養	多職種	6	静岡県病院協会
令和6年11月8日	令和6年度静岡県給食協会健康づくり 研修会	特養	管理栄養士	2	静岡県給食協会
令和6年11月21日	令和6年度職員施設間交流研修	特養	ユニット リーダー	1	静岡県老人福祉施設協議会
令和6年11月25日	令和6年度デイサービス施設間交流 研修	デイサービス	介護職員	1	静岡県老人福祉施設協議会

令和6年11月28日	苦情解決研修	特養	副施設長	1	社会福祉法人 大東福祉会
令和7年3月22日	静岡県在宅褥瘡セミナー	特養	看護師	1	日本褥瘡学会

2) 施設内研修実績

月 日	研 修 名	部署	職種	人数
令和6年7月23日	感染症研修①感染症予防の基本、介護現場に多い感染症について 日本福祉大学オンデマンド	全部署	全職種	69
令和6年7月29日	交通安全研修①DVD視聴 交通事故は防げる ながら運転ながらスマホ	全部署	全職種	47
令和6年11月1日	交通安全研修②DVD視聴 ① の見逃し研修として実施	全部署	全職種	6
令和7年1月6日	事故対策委員会研修①リスクマネジメント1、2 日本福祉大学オンデマンド	全部署	全職種	44
令和7年2月8日	事故対策委員会研修②リスクマネジメント3、4 日本福祉大学オンデマンド	全部署	全職種	30
令和7年2月18日	防災委員会研修 動画視聴	全部署	全職種	54
令和7年3月10日	身体拘束廃止・虐待防止に係る研修① 虐待の実態・なぜ虐待がおこるのか 日本福祉大学オンデマンド	全部署	全職種	51
令和7年3月17日	身体拘束廃止・虐待防止に係る研修② 虐待をなくすための組織的取り組み 不適切支援の妥当性の判断 日本福祉大学オンデマンド	全部署	全職種	33
令和7年3月20日	看取り委員会研修 看取り期にこそ大切にしたい口腔ケア 看取り介護とは？終末期の亡くなる兆候と介護 職としての関わり方 動画研修	特養	全職種	33

10 給食業務について

シダックスフードサービスとの契約が3年目となり、安心安全でより良い食事提供となるよう協力して給食業務に取り組むことができた。献立については、フェアメニューや旬の食材、要望の多い刺身献立の提供回数を増やし、利用者、職員からも好評を得ている。新型コロナウイルスが5類へと移行したが、以前のような外出が難しい利用者のために、施設内で季節のミニイベントを行い、地元の食材や手作りのおやつを提供し、普段とは違った雰囲気を味わって頂けた。

来年度からの業者選定については、給食業務委託業者選定委員会を設置し選定要綱に基づいて給食業者6社を指名し、3社から提案書の提出があった。選定委員会において書類審査を実施した結果、来年度もシダックスフードサービスと給食業務の委託契約を締結することとなった。

給食設備の管理については、設備会社による定期点検を継続しているが、開苑から20年が経過しているため、機器の不具合も生じやすくなっている。給食の安定供給のために不具合や異常の早期発見に努め、必要な修繕を行った。

1) 行事食の実施状況

月	行事内容	月	行事内容
4 月	オープン記念献立、季節の献立	10 月	収穫祭膳、ラーメンフェア、ハロウィン献立
5 月	端午の節句献立、北海道フェア	11 月	季節の献立、味噌汁紀行
6 月	初夏の献立、味噌汁紀行	12 月	開苑記念刺身献立、クリスマス、年越しそば

7 月	七夕献立、うなぎ飯、冷やし中華	1 月	正月三が日、七草粥、甘酒
8 月	カレーフェア	2 月	節分献立、バレンタイン、ご当地唐揚げ（富山）
9 月	敬老祝い膳、紅白饅頭、秋の味覚	3 月	ひな祭り、お彼岸、東北フェア

2) 衛生管理

検便（栄養士毎月、職員年2回）、厨房内の消毒、殺虫駆除（6月・11月）を実施し、衛生管理に努めた。

3) 栄養ケアマネジメント

栄養ケアマネジメントは、入所者の栄養向上のために昨年同様、他職種の協力を得て取り組んだ。

11 地域との交流について

地元ボランティアによる草刈りや赤十字奉仕団による絵画展示、ちはまこども園とデイサービス利用者との交流事業をおこなった。秋祭りには国安地区の山車がくにやす苑の駐車場まで来苑し、利用者が大変喜ばれていた。また、小中学校等での福祉講話を延べ7回行い、地域の福祉教育に貢献できた。全国交通安全運動の期間には交差点での交通安全街頭指導を行った。静岡県が行う介護の未来ナビゲーター事業に参加した。こうした交流の様子については、インスタグラム等を活用し情報発信を行った。

令和6年度 小笠老人ホーム拠点区分 事業報告書

1. 令和6年度の総括について

入所者の立場に立ち、入所者の意思及び人格を尊重し、生活の質の向上と自立につなげる支援を基本とし、3項目の援助方針を設定し取り組んだ。

- ・あたたかい人間関係をつくり、健康を保ち、いつも笑顔でいられるよう援助します。
- ・一人一人が生きがいをもって、生き生きとした人生が送れるよう援助します。
- ・一人一人が自立した日常生活を営み、社会活動に参加できるよう援助します。

(1) 取り組み内容

- ①入所者の要望、希望には丁寧に対応し、毎月開催される職員会議、ケア部会で処遇・接遇につき協議し、改善に向け取り組んだ。
- ②入所者役員との協議を踏まえ、入所者と施設生活について協議する全体会である「わかば会」を毎月開催し、皆が気持ちよく暮らせる施設づくりに向けて取り組んだ。
- ③生活動作の維持、日中活動の継続を目指し、散歩、掃除等の日課を励行した。
- ④食事に関する嗜好を重視し、調味料や冷蔵庫の扱いにかかる制限を見直した。
- ⑤外出行事、交流行事等を年間計画に基づき、例年通り実施した。

(2) 効果及び評価

毎年度実施している入所者アンケート（内容：サービス内容の満足度、職員対応の満足度、施設安全対策の満足度、美観・清潔感の満足度、施設全体の満足度）において、全32項目中19項目において前年度を上回った。「満足、やや満足、普通と回答した入所者の割合」は90.3%であり、施設組合の要求水準である85%以上を上回っている。但し、「入浴の回数や時間等」、「ショッピング」、「共用スペースの清潔さ、きれいさ」については前年度を下回る結果となっている。

2. 利用動向について

1か月の平均利用者数は38.1人であり、目標としていた40人を下回った。安定経営を図るために、関係3市や各圏域の地域包括支援センターに出向いて、入所対象者の掘り起こしの要望や、法人単独事業の短期入所などのPRを行ったが、入所者数を増やすことは出来なかった。

(1) 入退所者状況 定員50名

月	入 所			退 所			入所者数（月末）			利用率 （%）
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
4	0	0	0	0	0	0	19	20	39	78.0
5	0	0	0	0	1	1	19	19	38	76.0
6	1	0	1	0	0	0	20	19	39	78.0
7	0	0	0	1	0	1	19	19	38	76.0
8	0	0	0	0	1	1	19	18	37	74.0
9	0	1	1	0	0	0	19	19	38	76.0
10	0	0	0	0	0	0	19	19	38	76.0
11	0	1	1	0	1	1	19	19	38	76.0
12	0	0	0	0	0	0	19	19	38	76.0
1	1	0	1	0	1	1	20	18	38	76.0
2	0	0	0	0	0	0	20	18	38	76.0
3	0	0	0	0	0	0	20	18	38	76.0
計	2	2	4	1	4	5	19.3	18.7	38.1	76.2

*退所理由 入院0名、自宅復帰0名、他施設5名、死亡0名

(2) 地区別入所者状況 令和7年3月末現在

市 名	男	女	計	比 率 (%)
菊川市	5	3	8	21.0
御前崎市	0	0	0	0.0
掛川市	13	13	26	68.4
磐田市	2	0	2	5.2
森 町	0	2	2	5.2
計	20	18	38	

(3) 介護認定の状況 令和7年3月末現在

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	0	1	3	1	0	0	5
女	0	1	4	1	0	0	0	6
計	0	1	5	4	1	0	0	11

(4) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳の交付状況 令和7年3月末現在

手 帳 区 分	内 容	男	女	計
身体障害者	視覚障害	0	1	1
	聴覚言語障害	0	1	1
	肢体不自由	2	3	5
	内部障害	1	0	1
療 育	療育A	0	1	1
	療育B	3	0	3
精神障害者		3	0	3
計		9	6	15

(5) 短期入所利用状況

項 目	令和6年度	令和5年度
利用者数	7名	2名
利用日数	45日	7日

3 職員体制について

職員配置状況 令和7年3月末現在

	施設 長	相談 員	支援 員	事務 員	看護 職	栄養 士	夜勤 支援 員	宿直 員	合計
総 計	1	2	4	2	1	1	3	7	21
正規職員	1	2	3	1	1	1	0	0	9
非常勤職員	フルタイム	0	0	1	0	0	0	0	1
	短時間	0	0	0	1	0	3	7	11

4 活動・行事について

入所者の意向を踏まえながら、例年恒例の活動・行事をほぼ予定通りに行うことができた。入所者よりの、希望・要望に関しては、毎月開催される「わかば会役員会」、「わかば会全体会」において確

認している。協議、相談の上、活動・行事の見直しを都度行った。

月	行 事	月	行 事
4 月	おやつ作り	10 月	お祭り、おやつ作り、
5 月	外食ツアー	11 月	外食ツアー
6 月	いきいき交流会	12 月	小國神社ドライブ、忘年会
7 月	七夕飾り、盆供養、納涼祭、おやつ作り	1 月	新年祝賀式
8 月	可睡斎ドライブ	2 月	節分、カラオケ大会
9 月	彼岸供養、敬老会、外食ツアー	3 月	彼岸供養・念仏、おやつ作り
毎月 実施	誕生会、ショッピング（2回/月）、コーヒー喫茶/かき氷喫茶（2回/月）、クラブ活動【体操クラブ、ふれあいクラブ、生花クラブ、手芸クラブ】		

5 防災訓練について

職員が少ない日直及び夜勤体制下での火災発生を想定した避難訓練を重点的に実施した。高齢化に伴い、歩行が不安定な入所者が増えているため、少ない職員人数で、どう判断し、行動することが適切であるのか訓練の都度課題を確認し、職員会議等で協議した。避難場所が不統一であり課題とされていたが、各訓練とも避難場所を固定し実施した。また、地震発生を想定し、本部及び各編成班の機能が、効果的に発揮することを目的とした訓練を実施した。

月	訓 練 種 別	目 的 ・ 内 容
4 月	避難誘導訓練 消火栓放水訓練	日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、消火栓の正しい使用方法の確認も行った。
5 月	情報伝達訓練	各職員へ電話による情報伝達訓練を行った。
	避難誘導訓練 消火栓放水訓練	日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、消火栓の正しい使用方法の確認も行った。
	夜勤職員防災設備 の点検	夜勤職員が防災器具の設置状況を確認した。
6 月	避難誘導訓練	夜勤体制下における火災発生を想定し、消火活動・避難誘導訓練を実施した。夜勤支援員及び管理人も参加するよう呼びかけた。
7 月	避難誘導訓練	日勤体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。
8 月	土砂災害、風水害訓練	土砂災害及び風水害時に職員が円滑かつ迅速な対応ができ、利用者の安全を確保することを目的に行った。訓練終了後、ストレッチャー及び担架での搬送訓練を行った。
9 月	地震総合防災訓練	南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発せられたと想定し、災害応急対策訓練を実施した。本部立ち上げ訓練を併せて実施した。
10 月	避難誘導訓練 （夜間）	夜間帯での避難訓練を実施することで、少ない職員体制での動きの基本を確認し、入所者の安全を確保することを目的に行った。
11 月	避難誘導訓練 非常通報装置訓練	日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、実際に消防署に火災の通報をし、消防署からの返信に応える訓練も実施した。
12 月	地域防災訓練	非常災害時に地域住民、消防関係者等との円滑な連携が図られるよう、地域住民が参加する避難訓練を実施し、防災意識を高め非常時における迅速かつ効果的な対応が可能となることを目的とする。
1 月	避難誘導訓練 （夜間）	夜間帯での避難訓練を実施することで、少ない職員体制での動きの基本を確認し、入所者の安全を確保することを目的に行った。
2 月	避難誘導訓練 （夜間）	夜間体制下における地震発生を想定し避難誘導訓練を実施した。入所者の安全確保を図るとともに、入所者及び職員の防火意識の高揚を図ることを目的とした。
3 月	避難誘導訓練	日勤体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。

6 ボランティアの状況について

定期的に来園されるボランティアグループ、毎年恒例のボランティア作業等が中心となっている。

実=実人数 延=延べ人数 団体 () =団体数

月	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	1	1	9	10	8	18	6	24	0	24	1	25
団体	0 (0)	0 (0)	8 (1)	8 (1)	0 (0)	8 (1)	0 (0)	8 (1)	0 (0)	8 (1)	8 (1)	16 (2)
月	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	7	32	7	39	5	44	1	45	10	55	2	57
団体	0 (0)	16(2)	0 (0)	16 (2)	6 (1)	22 (3)	0 (0)	22(3)	9 (1)	31(4)	0 (0)	31(4)

7 衛生管理について

定期健康診断、インフルエンザ他の予防接種を例年通り実施した。ストレスチェックの結果においては大きなリスクの懸念は伺えないが、引き続き働きやすい職場を目指し、具体的な課題を把握し取り組んでいく。

	内 容	入所者	職 員
6 月～7 月	定期健康診断（職員）		全職員
8 月	定期健康診断（入所者）	全入所者	
9 月	肺炎球菌ワクチン接種	対象入所者	
11 月	インフルエンザ予防接種	全入所者	
12 月	新型コロナウイルス接種	希望者	
	ストレスチェック		全職員
2 月	定期健康診断（入所者）	全入所者	
毎月	嘱託医回診・通院、歯科検診	入所者	

8 定例会議について

職員会議は、行事・活動の予定と調整し開催し、各専門職員全員が協議の場を共有することを基本とした。委員会においては、各担当職員が研修内容等準備し実施している。

会 議 名	開 催 時 期	会 議 名	開 催 時 期
職員会議	月 1 回	わかば会役員会	月 1 回
ケア部会	月 1 回	感染対策委員会	年 4 回（5, 8, 11, 2 月）
調理部会	月 1 回	組合連絡会	月 1 回
わかば会（入所者）	月 1 回	組合議会・監査	年各 2 回（7, 8, 3 月）
事故防止委員会	月 1 回	身体拘束廃止委員会	年 4 回（4, 7, 10, 1 月）

9 主な職員研修について

施設職員連絡会などで開催される会議や研修に積極的に参加し、課題の共有や関係構築に努めた。また、外部研修で受講した内容は、ケアの質の向上を目指して、毎月の職員会で報告することを定着させた。

(1) 施設内研修実績

月	研修内容	月	研修内容
4 月	発達障害研修	10 月	事故防止職員研修
5 月	事故防止職員会研修	11 月	身体拘束、虐待防止研修
6 月		12 月	苦情解決能力向上について
7 月		1 月	身体拘束、虐待防止研修
8 月		2 月	感染対策の理解と対応
9 月		3 月	

(2) 外部研修実績

職種	年月日	人数	主催者	研修内容
看護職員 主任支援員	令和 6 年 6 月 1 日	2	中東遠総合医療センター	高齢者施設における感染リンクスタッフ育成研修 (DVD)
施設長	令和 6 年 6 月 11 日	1	静岡県老人福祉施設協議会	養護委員会
栄養士	令和 6 年 6 月 28 日	1	中部地区公立養護老人ホーム 施設職員連絡協議会	中公老栄養士研修会
看護職員 主任支援員	令和 6 年 7 月 8 日	2	中東遠総合医療センター	高齢者入所施設における感染管理地域リンクスタッフ育成研修 (DVD)
夜間支援員	令和 6 年 7 月 11 日	2	掛川南消防署	救命救急講習
施設長	令和 6 年 7 月 22 日	1	静岡県老人福祉施設協議会	広報委員会
相談員	令和 6 年 7 月 30 年	1	中部地区公立養護老人ホーム	施設職員研修会
主任支援員	令和 6 年 8 月 7 年	1	静岡県老人福祉施設協議会	「どうすれば職場の問題解決に貢献できる職員になれるか」(zoom)
主任相談員	令和 6 年 8 月 7 日	1	掛川市危機管理課	社会福祉施設における原子力災害避難計画の作成支援に係わる説明会 (zoom)
看護職員 主任支援員	令和 6 年 8 月 12 日	2	中東遠総合医療センター	高齢者入所施設における感染管理地域リンクスタッフ育成研修 (DVD)
支援員	令和 6 年 8 月 26 日	1	静岡県社会福祉協議会	介護職の為のすぐに役立つ医学知識 (zoom)
看護職員 主任支援員	令和 6 年 9 月 1 日	2	中東遠総合医療センター	高齢者入所施設における感染管理地域リンクスタッフ育成研修 (DVD)
施設長	令和 6 年 9 月 12 日	1	静岡県社会福祉協議会	社会福祉法人予算管理講座 (動画配信)
看護職員 主任支援員	令和 6 年 10 月 1 日	2	中東遠総合医療センター	高齢者入所施設における感染管理地域リンクスタッフ育成研修 (DVD)
施設長 主任相談員	令和 6 年 10 月 22 日	2	中部地区公立養護老人ホーム	中部地区公立養護老人ホーム施設長・相談員研修会
栄養士	令和 6 年 10 月 25 日	1	給食協会掛川支部	栄養士研修会
栄養士	令和 6 年 10 月 28 日	1	静岡県病院協会	施設巡回による感染防止対策についてのアドバイス
看護職員 主任支援員	令和 6 年 11 月 4 日	1	中東遠総合医療センター	高齢者入所施設における感染管理地域リンクスタッフ育成研修 (DVD)
支援員	令和 6 年 11 月 12 日	1	中部地区公立養護老人ホーム	施設職員連絡会支援員研修会
看護職員	令和 6 年 11 月 15 日	2	中東遠総合医療センター	高齢者入所施設における感染管理地

主任支援員				域リンクスタッフ育成研修
施設長	令和6年11月18日	1	静岡県老人福祉施設協議会	広報委員会
支援員	令和6年11月28日	1	静岡県社会福祉協議会	「苦情解決能力の向上を目指して！」
看護職員	令和6年12月24日	1	中東遠総合医療センター	高齢者入所施設における感染管理地域リンクスタッフ育成研修（DVD）
栄養士	令和7年1月23日	1	静岡県西部保健所	令和6年度高齢者等入所施設の職員を対象とした感染症予防対策研修会
栄養士	令和7年2月7日	1	静岡県給食協会	静岡県給食協会令和6年度事例研究発表会・講演会
主任相談員	令和7年2月7日	1	全国老人福祉施設協議会	職場環境づくりに関する研修～介護現場で役立てる～心理的安全性のつくりかた
看護職員 主任支援員	令和7年3月18日	2	中東遠総合医療センター	高齢者入所施設における感染管理地域リンクスタッフ育成研修

10 給食業務について

（1）行事食の実施状況

- ①行事食は、月に1回開催される誕生会が中心となるため、毎月誕生者の希望を聞き、それを献立に反映させ、普段より豪華な食事になるよう工夫した。乾杯用ドリンクは誕生者一人一人の好みに合わせた飲み物を用意し、誕生ケーキは手作りも取り入れながら、お祝いらしいケーキを提供した。配膳方法も、できる限り豪華でありながら衛生的であることを心掛けた。
- ②食材の価格高騰に対応し、費用を抑えつつも食事の質を保つために、献立の工夫や仕入れの見直しを行った。
- ③小笠老人ホーム敷地内の畑で採れた、新鮮で安全な野菜を使用することができた。
- ④年4回実施したおやつ作りでは、季節のおやつを取り入れ、入所者とともに楽しい時間を過ごした。

月	行 事	献 立 表
4月	誕生会	ご飯・ヒレカツとエビフライ・もずく酢・かぶの漬物・みそ汁・いちごのシフォン（手作り） 乾杯ドリンク・お茶
5月	誕生会	五目混ぜご飯・天ぷら盛合せ・春キャベツの酢の物・すまし汁・チョコレートパフェ（手作り） ・乾杯ドリンク・新茶
6月	誕生会	ロースかつ丼・新じゃがのポテトサラダ・漬物三種・赤だしのみそ汁・抹茶のシフォンケーキ （手作り）・乾杯ドリンク・新茶
7月	誕生会	うな丼・胡瓜の漬物・すまし汁・大福・乾杯ドリンク・お茶
	納涼祭	赤飯にぎり・稲荷寿司・鶏のから揚げ・餃子の皮ピザミニ赤飯握り・水饅頭・ジュース・かき氷・お茶
8月	誕生会	海老かつ丼・亜麻仁油サラダ・浅漬け・赤だしみそ汁・小さなパフェ（手作り）・乾杯ドリンク・お茶
9月	敬老会	【祝い弁当】うな寿司・まぐろの刺身・茶碗蒸し・胡瓜とえびの酢の物・メロン・水饅頭・すまし汁・乾杯ドリンク・お茶
	誕生会	照り焼きバーガー・フランクフルト・フライドポテト・コールスローサラダ・ワンタンスープ・ティラミス風デザート・乾杯ドリンク・お茶
10月	誕生会	ご飯・刺身盛り合わせ・炊合わせ・すまし汁・ブルーベリーケーキ・乾杯ドリンク・お茶
11月	誕生会	【弁当箱】稲荷とまぐろの握り寿司・天ぷら・白和え・吸い物・栗ケーキ（手作り）・乾杯ドリンク・お茶

12 月	忘年会	握り寿司・茶碗蒸し・豚汁・みかんとキウイ・カフェオレムース・乾杯ドリンク・お茶
	誕生会	【弁当箱】赤飯・刺身三種盛り・ほうれん草胡麻和え・すまし汁・ミルクレープ・乾杯ドリンク・新茶
1 月	誕生会	海老天丼・刺身の小付け・茶碗蒸し・白菜の漬物・すまし汁・新春モンブラン・乾杯ドリンク・お茶
	元旦 祝い膳	【弁当箱】赤飯・おせち盛合せ（伊達巻・煮豚・祝いかまぼこ・海老の佃煮・黒豆・数の子・いくら・栗きんとん・わさび漬け）・みかん
2 月	誕生会	鉄火丼・お吸い物・漬物・法多山の厄除け団子・乾杯ドリンク・新茶
3 月	誕生会	【弁当箱】赤飯・刺身 3 種盛り（まぐろ・サーモン・鯛）・山菜天ぷら・春野菜の炊合わせ・玉子豆腐のすまし汁・バナナケーキ・乾杯ドリンク・お茶

（２）衛生管理

【保菌検査】栄養士は、毎月実施し、６月から９月までの食中毒多発期間の４ヶ月間は、月２回実施した。

看護職員、支援員は、４月、７月、１０月、１月の４回実施し、夜間支援員、宿直管理人は、５月、８月、１１月、２月の４回実施した。

（３）栄養ケア・マネジメント

①日々の摂取状況や血液検査（年２回）、体重（毎月）、身長（年２回）から計算した BMI（体格指数）の状況をもとに、適切な食事を提供した。また、糖尿病などの制限食の対応については、支援員、看護職員、相談員、栄養士が連携して取り組んだ。

②入所者個々の食事状況や嗜好を把握し、療養食を含めた健康管理に努めた。

③入所者に関する必要な情報を給食業務委託業者に伝え、個々の状態を共有しながら、安全で美味しい食事の提供に努めた。

（４）その他

①感染症予防対策として、職員に食中毒や感染症が発生した際の対処方法を指導するとともに、給食業務委託業者の調理員に対する保菌検査や衛生研修の状況を確認した。

②毎月１回調理部会を開催し、食事に関する課題を共有し、解決に向けた情報交換を行った。

③毎月、献立・食材・栄養価の確認を実施した。

④保存食の検品を給食業者とともにに行い、確実なチェックの上で記録を残した。

⑤温かい料理を温かい状態で提供するため、ご飯と主菜の配膳方法を検討し、可能な限り喫食直前に配膳するよう努めた。

⑥衛生管理の強化を図り、厨房内の床や壁の塗装を行うとともに、清掃を徹底した。

⑦災害時に対応できるよう、非常食の整理と確認を行い、指示書を作成し直した。

⑧令和６年度版の給食マニュアルを作成した。

（４）その他

11 地域との交流について

６月に行われた毎年恒例の「いきいき交流会」では、三井地区シニアクラブの方々とともにゲームなどを楽しんだ。７月に実施した納涼祭は、通常であれば地区の役員の方をお招きするが、令和６年度は感染症への配慮から、入所者と施設職員のみで開催した。１２月には三井区役員および中学生と協力し、地域防災訓練を行った。各行事では、円滑な準備と実施が行われ、参加者同士の交流を深める良い機会となった。